

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX
Mate NX®

(Windows 98 インストールモデル)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの
概要と削除/追加

他のOSを利用する

トラブル解決Q&A

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。また、印のマニュアルは、省スペース型モデルの場合は、電子化マニュアルをご覧ください。詳しくは、『はじめにお読みください』6. マニュアルの使用方法をご覧ください。

添付品の確認、本機の接続、Windows 98のセットアップ

→『はじめにお読みください』

本機を安全に使うための情報

→『安全にお使いいただくために』

Windows 98の基礎知識、基本的な操作方法

→『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』
またはWindows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の
『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』

本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)

→『活用ガイド ハードウェア編』

MA46H/Sのシステム設定(BIOS設定)

→『本機をお使いの方へ』

このマニュアルです

本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ方法

→『活用ガイド ソフトウェア編』

トラブル解決方法

→『活用ガイド ソフトウェア編』

再セットアップ方法

→『活用ガイド 再セットアップ編』

本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明

→『ハードウェア拡張ガイド』

ATコマンドについて

→『ATコマンド』(電子化マニュアル)

ディスプレイの利用方法

→液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法

→Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎10・花子10バック&1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介

→『メンテナンス&サポートのご案内』

パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介

→『NEC PC あんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press>



はじめに

このマニュアルは、本機にあらかじめインストールされているアプリケーション、添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ方法、さまざまなトラブルの解決、対応方法を説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windows 98 の基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windows 98もしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがコンピュータにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART4 付録」、MA45L/Rをお使いの方は「PART3 付録」をご覧ください。

1999年 10月	初版
2000年 1月	二版
2000年 2月	三版

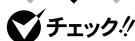
このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



トラブル事例を示します。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NXまたはMate NX R (Windows 98インストールモデル) 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないPC 98-NX シリーズ Mate NXまたはMate NX R(Windows 98インストールモデル)を指します。
Mate NX	MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA50J/F、MA43H/Fを指します。
Mate NX R	MA45L/Rを指します。
NetPCモデル	フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが搭載されていない状態でご購入いただいたモデルです。 次の機種を指します。 MA46H/Z
Securityモデル	指紋認証ユニットなどが添付されたモデルです。 次の機種を指します。 MA50T/A

アプリケーション なしモデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)がない状態でご購入いただいたモデルです。次の機種を指します。
Office 2000 Personal モデル	Office 2000 Personalがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
Office 2000 Professional モデル	Office 2000 Professionalがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎10・花子10バック & 1-2-3 2000モデル	一太郎10・花子10バックとロータス1-2-3 2000がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
「スタート」ボタン→ 「設定」→「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98 Windows 95	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Oprating System 日本語版 Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT、 Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows NT Server 4.0	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows 2000 Server	Microsoft® Windows® 2000 Server
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、 Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft PowerPoint® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)

一太郎10・花子10バック	一太郎10・花子10バック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
1-2-3 2000	ロータス1-2-3 2000
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
Internet Explorer 5	Microsoft® Internet Explorer 5
Internet Explorer 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01
RSA SecurPC	RSA SecurPC™ for Windows® 95/98 version 1.1.3J
スーパーディスク	SuperDisk™

このマニュアルで使用しているイラストと画面

・このマニュアルに記載のイラストと画面は、実際のものとは多少異なることがあります。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、Windows Media、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10」「花子10バック」「一太郎8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10」「花子10バック」「一太郎8」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereはSymantec Corporationの米国における登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodack Company 1995

Savage4は、S3社の商標です。

RageはATI Technologies, Inc.の商標です。

YAMAHAはヤマハ株式会社の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

SuperDisk、SuperDiskロゴは、米国イメージーション社の商標です。

Intel、PentiumおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1999, 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本製品の輸出については、外国為替および外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入いただいた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

このマニュアルの構成・読み方

このマニュアルはPART1からPART3までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じてこのマニュアルを活用してください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容( チェック!)、用語( 語)、メモ( メモ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいきます。

目次

索引

PART1 アプリケーションの概要と削除/追加

各アプリケーションソフトウェアの概要と削除および追加の方法について説明しています。

PART2 他のOSを利用する

Windows98のMS-DOSモードを利用する際の注意事項や、本機でWindows NT、またはWindows 2000を利用する場合のセットアップ手順およびアップデート手順について説明しています。

PART3 トラブル解決Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたとき、何か疑問があるときはここを読んでください。

はじめに	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	7
このマニュアルの構成・読み方	8
目次(このページです)	9
索引	14

アプリケーションの概要と削除/追加 17

この章の構成	18
ヘルプについて	18
概要について	18
削除について	18
追加について	20
知っておきたい便利な機能とアプリケーション	22
Office 2000 Persona(Office 2000 Personalモデルのみ)	24
概要	24
削除	24
追加	25
Office 2000 Professiona(Office 2000 Professionalモデルのみ)	28
概要	28
削除	28
追加	30
一太郎10・花子10バック	
(一太郎10・花子10バック & 1-2-3 2000モデルのみ)	33
概要	33
削除	33
追加	33
ロータス1-2-3 2000	
(一太郎10・花子10バック & 1-2-3 2000モデルのみ)	34
概要	34
削除	34
追加	35

RSA SecurPC	36
概要	36
削除	37
追加	37
VirusScan	39
概要	39
使用上の注意	39
削除	41
追加	42
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)....	44
概要	44
削除	45
追加	46
pcAnywhere 9.0 EX	48
概要	48
削除	49
追加	50
Masty Data Backup	51
概要	51
削除	52
追加	53
CyberAccess	54
概要	54
削除	56
追加	57
Timer-NX	61
概要	61
削除	61
追加	62
NEC Soft MPEG1.0	63
概要	63
削除	63
追加	64

プレーヤ-NX	66
概要	66
削除	67
追加	68
文豪DP/LANシリーズコンバータ	69
概要	69
削除	70
追加	71
Acrobat Reader 3.0J	72
概要	72
削除	72
追加	73
英語モードフォント	74
日本語モードフォント、英語モードフォントについて	74
英語モードフォントへの切り替え(追加)	75
日本語モードフォントへの切り替え(削除)	76
液晶ディスプレイ調整ツール	77
概要	77
削除	78
追加	79
Easy CD Creator Lite	81
概要	81
削除	81
追加	82
DirectCD	84
概要	84
削除	84
追加	85

他のOSを利用する 87

Windows 98でMS-DOSモードを利用する	88
MS-DOSモードを利用する	88
MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたは	
CD-RWドライブを利用する	90
サウンド機能	93
Windows NT 4.0を利用する	94
Windows NT 4.0をセットアップする前に	94
Windows NT 4.0のセットアップとアップデート	107
指紋認証ユニットのセットアップについて	134
本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意	135
セットアップ後のネットワークの設定について	136
スーパーディスク3モード対応ドライバと	
専用フォーマットユーティリティについて	137
FAXモデムカードの利用について	140
Windows 2000を利用する	146
Windows 2000をセットアップする前に	146
Windows 2000のセットアップ	148
本機でWindows 2000を利用するときの注意	160

トラブル解決 Q&A 163

トラブルが起きたとき	164
トラブルを解決するには(ヒント).....	165
お問い合わせの前に(トラブルチェックシート).....	168
電源を入れたが...	170
電源を切ろうとしたが...	176
スタンバイ機能を使おうとしたら...	177
パソコンがこわれそう...	178
画面がおかしい...	180
音がおかしい...	183
マウスを動かしても...	184
文字を入力しようとしたら...	185

ファイルを保存しようとしたら...	186
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら...	187
FAXモデムを使おうとしたら...	188
印刷しようとしたら...	188
フロッピーディスクなどを使っていたら...	190
ハードディスクを使っていたら...	191
CD-ROMを使っていたら...	194
周辺機器を取り付けようとしたら...	197
アプリケーションを使っていたら...	199
タイマ機能を使おうとしたら...	204
その他	205
コンピュータウイルス対策について	208
トラブルを予防するには...	210
アフターケアについて	212

索引

ページ太字：説明や作業のあるページを指します。

ページ細字：図や文章に出てくるページを指します。

英数字

「_」(アンダースコア、アンダーバー)	186
「~」(チルダ)	186
1-2-3 2000	34, 35
1Gバイト	193
1Mバイト	193
2000年問題	205
3モード	138
Acrobat Reader 3.0J	72
Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/ 4944/AIC-78xx PCI S Controller (Windows NT® 4.0)	110, 114
Administrator	97
ATOK13	201
BIOSセットアップメニュー	175
CD-ROM	19, 194
CD-ROMドライバ	90
CD-RW	81, 84, 186
CyberAccess	54
DDC	180, 181
DirectCD	84
DP	69
Easy CD Creator Lite	81
Excel 2000	24
FAXモデム	188
Intel® LANdesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)	44
Internet Explorer3.02	203
Internet Explorer4.01	203
Invalid system disk Replace the disk...	173
LAN	187
LANシリーズ	69
Masty Data Backup	51
MPEGファイル	63
MS-DOS	89
MS-DOSプロンプト	88
MS-DOSモード	88
MS-IME 2000	24
Office 2000 Personal	24
Office 2000 Professional	28
Operating System not found	174
Outlook 2000	24
pcAnywhere 9.0 EX	48
PCIボード	198
PS/2互換マウスポート	185
README	167
RGBケーブル	170
RSA SecurPC	36
S.M.A.R.T	51
Safe mode	172
Sasuke	33
Soft MPEG1.0	63

Timer-NX	61, 204
VirusScan	39
Windows 2000	146
Windows 3.1	201
Windows NT Server 4.0	94
Windows NT Workstation 4.0	94
Word 2000	24

ア行

圧縮	191
アプリケーション	199
暗号化	36
異臭	178
異常	178, 183
一太郎10	33
一太郎10・花子10バック	33
印刷	188, 189
ウイルス	208
英語モードフォント	74
液晶ディスプレイ調整ツール	77
エラーメッセージ	175
音飛び	194

カ行

海外	207
画面	180
キーボード	185
キーボードエラー	170
記号	186
起動ディスク	103, 211
強制的に電源を切る方法	177
共有	187
グラフィックセットアップ	117
煙	178

高解像度	181
------------	-----

サ行

再入手方法	213
削除の準備	19
雑音	207
三四郎9	33
時刻	207
システムスイッチ	135
修復	213
周辺機器	197
重要な情報	167
省電力	180
譲渡	213
スーパーディスク	133
スーパバイザパスワード	175
スタンバイ機能	177
西暦2000年問題	205

タ行

ディスククリーンアップ ...	192, 210
電源	170
電池	207
添付品	213
問い合わせ	167
動画がとぎれる	195
ドライバのアップデート	123
トラブルチェックシート	168

ナ行

入力できない文字	186
ネットワーク	187

八行

ハードディスク	191
廃棄	207
パスワード	175
バックアップ	51, 94
花子10	33
パワーボタン	135
ハングアップ	165
被害届	209
日付	207
表示位置	180
ヒント	165
ファイルを保存	186
フォーマット	133, 190
復号化	36
フリーズ	165, 179
プリンタ	189
プレーヤ・NX	66
プロダクトの選択	21
フロッピーディスク	190
文豪DP/LANシリーズコンバータ ...	69
ヘルプ	18, 167
補修用性能部品	212
保守サービス	212
補足説明	167

マ行

マウス	184
マニュアルセンター	206
メンテナンス	210
文字コード表	186
モニタ	181

ヤ行

ユーザパスワード	175
予防	208

ラ行

ロータス1-2-3 2000	34
----------------------	----

ワ行

割り込みレベル	197
---------------	-----

1

アプリケーションの概要と 削除/追加

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの概要と削除方法および追加方法について説明します。削除や追加をする場合、Windows 98およびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

この章の読み方

次ページの「この章の構成」と「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.22)を読んだ後に、各アプリケーションの概要と削除/追加をお読みください。

この章の内容

この章の構成	18	pcAnywhere 9.0 EX	48
知っておきたい便利な機能とアプリケーション ..	22	Masty Data Backup	51
Office 2000 Personal		CyberAccess	54
(Office 2000 Personalモデルのみ)	24	Timer-NX	61
Office 2000 Professional		NEC Soft MPEG1.0	63
(Office 2000 Professionalモデルのみ)	28	プレーヤー-NX	66
一太郎10・花子10パック(一太郎10・		文豪DP/LANシリーズコンバータ	69
花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)	33	Acrobat Reader 3.0J	72
ロータス1-2-3 2000(一太郎10・		英語モードフォント	74
花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)	34	液晶ディスプレイ調整ツール	77
RSA SecurPC	36	Easy CD Creator Lite	81
VirusScan	39	DirectCD	84
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0			
(with NEC Extensions)	44		



この章の構成

この章では各アプリケーションの概要と削除、追加について説明します。

ヘルプについて

各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
用語、操作の方法や手順など、わからないことが起きたときに活用します。

概要について

アプリケーションの概要、起動方法などについて説明します。

削除について

本機にあらかじめインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションの削除の手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
次のような場合にアプリケーションを削除してください。

- ・ ハードディスクの空き容量を増やしたい場合
- ・ 通常使わないアプリケーションがある場合

一部のアプリケーションでは、次の「削除の準備」を行ってから削除します。



チェック!!

- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- ・削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
- ・NetPCモデルでCD-ROMを使用して削除する場合は、あらかじめネットワーク上の任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。
- ・CD-ROMを使用して削除する場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションは、CyberAccessがエキスパートモード、アドバンストモード以外のときは削除できません。その場合は、エキスパートモードまたはアドバンストモードに変更してから削除を行ってください。

参照

「CyberAccess」(P.54)

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、以下の手順を行ってください。

CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 Windows 98を起動する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
- 4 「インストールと削除」タブを選択する



チェック!!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法にしたがってアプリケーションの削除を実行してから、アイコンを削除してください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2 「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリック
- 3 「表示」タブをクリックし、「すべてのファイルを表示する」をクリック
- 4 「OK」ボタンをクリック

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

添付の「アプリケーションCD-ROM」から、本機にあらかじめインストールされているまたは添付されているアプリケーションを追加する場合の手順を説明します。

一部のアプリケーションでは、下記の「プロダクトの選択」を行ってから追加します。

追加の際、アプリケーションが表示するメッセージが他の画面に隠れてしまう場合があります。このような場合には、タスクバーをクリックして他の画面を最小化してください。



チェック！

- ・ NetPCモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上の任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。
- ・ 終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・ 一部のアプリケーションは、CyberAccessがエキスパートモード、アドバンスモード以外のときはインストールできません。その場合はエキスパートモードまたはアドバンスモードに変更してから追加を行ってください。

参照 ▶ 「CyberAccess」(P.54)

プロダクトの選択

本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 Windows 98を起動する
- 2 CD-ROMドライブに本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 5 「インストールと削除」タブを選択する
- 6 「インストール」ボタンをクリックして「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 7 「次へ」ボタンをクリック
- 8 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>: ¥NSETUP.EXE」となっていることを確認する
例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:¥NSETUP.EXE
- 9 「完了」ボタンをクリック
「プロダクトの選択」が表示されます。

この後は、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションの追加を行ってください。

知っておきたい便利な機能と アプリケーション

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション	
文章を作成する	○	Word 2000または一太郎10	()
HTMLを作成する			()
表計算する	○	Excel2000、三四郎9 または1-2-3 2000	
図形処理する		花子10	()
予定やスケジュールを管理する	○	Outlook 2000、Sasuke	()
住所録を作る			
ファイルを管理する			
社内にメールを発信する			
プレゼンテーションや企画書を作成する	○	PowerPoint 2000	()
データベースを作成する	○	Access 2000	()
印刷物やWebページを作成する	○	Publisher 2000	()
販売会計ソフトやOutlookの情報から、取引の動向や実績を分析する	○	顧客データマネージャ 2000	()
会社経営のノウハウやビジネス用語を調べる	○	Business Planner	()
インターネットへ接続する	○	Internet Explorer 5	
ソフトをダウンロードする		Outlook Express	
電子メールを送受信する		Shuriken	()
ファイルやフォルダの暗号化/復号化を行う		RSA SecurPC	
コンピュータウイルスを検出して除去する		VirusScan	
タイマ機能を使う		Timer-NX 1	
本機の情報を管理する		Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions) 1、 2	
遠隔地からパソコンを操作する		pcAnywhere 9.0 EX 1、 2	
ハードディスクをバックアップする		Masty Data Backup 1、 2	

機 能	工場出荷時の状態	アプリケーション
操作可能なアプリケーションやツールを、ユーザのレベルにあわせて制限するOSが必要とするファイルを保護する		CyberAccess
音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する		プレーヤ-NX NEC Soft MPEG 1.0
文豪DPシリーズ、LANシリーズで作成したデータを—太郎、三四郎で利用する		文豪DP/LANシリーズ コンバータ
pdf形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷をする		Acrobat Reader
海外製アプリケーションを利用する		英語モードフォント
液晶ディスプレイの画面を調節する		液晶ディスプレイ調整ツール 3
CD-RWにデータを保存する		Easy CD Creator Lite () DirectCD ()

- : 工場出荷時にインストールされているアプリケーション
- : 工場出荷時に添付されているアプリケーション

() : ご使用のモデルによりアプリケーションが異なります。

- 1 : MA45L/Rには添付されていません。
- 2 : MA46H/Lには添付されていません。
- 3 : MA50J/F、MA43H/Fには添付されていません。



Office 2000 Personal (Office 2000 Personalモデルのみ)

概要

文章作成にWord 2000、表計算にExcel 2000、情報管理にOutlook 2000を使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付のOffice 2000 Personalのマニュアルをご覧ください。

- ✓ **チェック!**
- Word 2000またはExcel 2000の初回起動時に表示される「Microsoft Office 2000ユーザー情報」の画面でCDキーを入力してください。
 - Outlook 2000の初回起動時に表示される「Outlook 2000スタートアップ」の「メール サービス オプション」画面では、「企業/ワークグループ」を選択してください。

削除

- ✓ **チェック!**
- 他の日本語入力プログラムをインストールしていない場合、MS-IME 2000を削除してしまうと日本語入力できなくなります。MS-IME 2000は削除しないでください。

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000の削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Personal」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Office 2000メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック

- ✓ **チェック!**
- Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションの  をクリックし、「インストールしない」をクリック
- 5 「完了」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Office 2000 Personalのセットアップが正常に終了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 本機を再起動する

追加

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000の追加

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

- 1 CD-ROM ドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック



チェック!! CDキーは「Office 2000 Personal」のCDケース裏面に記載されています。

- 3 「Microsoft Office 2000使用許諾とサポート情報」の画面で「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタマイズ」をクリック
- 5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「Microsoft Office 2000 機能の選択」画面で「Microsoft Office」の  をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」を選択する

7 「完了」ボタンをクリック

8 「インストーラ情報」画面で「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

9 再起動後、「IME 2000をインストールしますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

- ✓チェック! ・MS-IME 2000を追加しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。これで追加の手順は終了です。
・Office 2000 Personalの追加後にMS-IME 2000を追加したい場合はCD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットし、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥MSIME¥SETUP.EXE」と入力し「OK」ボタンをクリックした後、手順10～20を行ってください。

10 「Microsoft IME 2000 へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

11 「使用許諾契約書の確認」の画面で「使用許諾契約書」に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

12 「ユーザ情報の登録」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック

13 「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」の画面で「カスタム」にチェックし、「次へ」ボタンをクリック

14 「オプション機能」のをクリックして「マイコンピュータからすべて実行」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

15 「インストールしますか？」の画面で「インストール」ボタンをクリック

16 「セットアップが完了しました」の画面で「OK」ボタンをクリック

- 17 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 18 「Microsoft IME 2000へのユーザー情報の登録」の画面で登録
する場合は「OK」ボタンをクリック
登録しない場合は「登録しない」ボタンをクリック
- 19 「Microsoft IME 2000日本語入力システム」の画面が表示され
たら  ボタンをクリック
- 20 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 21 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック



Office 2000 Professional (Office 2000 Professionalモデルのみ)

概要

文章作成にWord 2000、表計算にExcel 2000、情報管理にOutlook 2000、プレゼンテーションにPowerPoint 2000、データベース作成にAccess 2000、Webページ作成にPublisher 2000、取引の動向や実績の分析に顧客データマネージャ2000、会社経営のノウハウやビジネス用語を調べるのにBusiness Plannerを使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付のOffice 2000 Professionalのマニュアルをご覧ください。



チェック!

- ・初回起動時に「Microsoft Office 2000 ユーザー情報」の画面が表示されたらCDキーを入力してください。
- ・Outlook 2000の初回起動時に表示される「Outlook 2000 スタートアップ」の「メールサービスオプション」の画面では、「企業/ワークグループ」を選択してください。

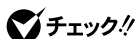
削除

他の日本語入力プログラムをインストールしていない場合、MS-IME 2000を削除してしまうと日本語入力できなくなります。MS-IME 2000は削除しないでください。

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の削除

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.19)
- 2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Professional」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

3 「Microsoft Office 2000 メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック



チェック!

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000 全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

4 削除したいアプリケーションの をクリックし、「インストールしない」をクリック

5 「完了」ボタンをクリック

6 「Microsoft Office 2000 Professional のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

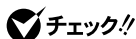
7 本機を再起動する

Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Plannerの削除

1 「削除の準備」の手順1～3を実行(P.19)

2 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft Office 2000 Disc2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

3 「Microsoft Office 2000 メンテナンスモード」の画面で「機能の追加/削除」ボタンをクリック



チェック!

Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Office の削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックし、手順6に進んでください。

4 削除したいアプリケーションの をクリックし、「インストールしない」をクリック

5 「完了」ボタンをクリック

6 「Microsoft Office 2000 Disc2 のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

7 本機を再起動する

追加

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の追加

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする

2 「Microsoft Office 2000 へようこそ」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!** CDキーは「Office 2000 Professional」のCDケース裏面に記載されています。

3 「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面で「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

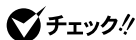
4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタマイズ」をクリック

5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

6 「Microsoft Office 2000 機能の選択」の画面で「完了」ボタンをクリック

7 「インストール情報」の画面で「はい」ボタンをクリック自動的に再起動します。

8 再起動後、「IME 2000 をインストールしますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!

- ・MS-IME 2000を追加しない場合は、「いいえ」ボタンをクリックし、手順21に進んでください。
- ・Office 2000 Professional の追加後にMS-IME 2000を追加したい場合はCD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットし、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥MSIME¥SETUP.EXE」と入力し「OK」ボタンをクリックした後、手順9～20を行ってください。

9 「Microsoft IME 2000 へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

10 「使用許諾契約書の確認」の画面で「使用許諾契約書」に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

11 「ユーザ情報の登録」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック

12 「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」の画面で「カスタム」にチェックし、「次へ」ボタンをクリック

13 「オプション機能」の をクリックして「マイコンピュータからすべて実行」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

14 「インストールしますか?」の画面で「インストール」ボタンをクリック

15 「セットアップが完了しました」の画面で「OK」ボタンをクリック

16 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック 自動的に再起動します。

17 「Microsoft IME 2000 へのユーザー情報の登録」の画面で登録する場合は「OK」ボタンをクリック 登録しない場合は「登録しない」ボタンをクリック

18 「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」の画面が表示されたら  ボタンをクリック

19 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

20 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック

Publisher 2000、顧客データマネージャ2000、Business Plannerの追加

1 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc2」のCD-ROMをセットする

2 「Microsoft Office 2000へようこそ」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!!** CDキーは「Office 2000 Professional」のCDケース裏面に記載されています。

3 「Microsoft Office 2000 使用許諾とサポート情報」の画面で「使用許諾書」の条項に同意します」にチェックを付け、「次へ」ボタンをクリック

4 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面で「カスタマイズ」をクリック

5 インストール先が「c:\Program Files\Microsoft Office\」となっていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

6 「Microsoft Office 2000 機能の選択」の画面で「完了」ボタンをクリック

7 「インストーラ情報」の画面で「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



一太郎10・花子10パック

(一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎10、図形処理に花子10、表計算に三四郎9、情報管理にSasukeを使用します。

機能の詳細や操作方法については、添付の一太郎10・花子10パックのマニュアルをご覧ください。

削除

一太郎10・花子10パックを削除するには、添付の一太郎10・花子10パックのマニュアル『一太郎10・花子10パック』をご覧ください、行ってください。

追加

一太郎10・花子10パックを追加するには、添付の一太郎10・花子10パックのマニュアル『一太郎10・花子10パック』をご覧ください、行ってください。



ロータス1-2-3 2000

(一太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000モデルのみ)

概要

表計算アプリケーションです。

機能の詳細や操作方法については、添付のロータス1-2-3 2000のマニュアルをご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「1-2-3 2000」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「スーパーオフィス製品の選択」の画面から「すべてのスーパーオフィス製品をアンインストールする」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 4 「ロータス アンインストール」の画面で「はい」ボタンをクリック
- 5 「次のソフトウェアが削除されました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 本機を再起動する

- 1 CD-ROMドライブに「ロータス1-2-3 2000 CD-ROM」をセットする



「ロータス1-2-3 2000」の画面が実行されない場合、CD-ROMドライブのルートディレクトリの「INSTALL.EXE」を実行してください。

- 2 「ロータス1-2-3 2000」の画面で「インストールボタン」をクリック
- 3 「インストール方法をお選びください」というメッセージが表示されたら、「クイックインストール」ボタンをクリック
- 4 「C:ドライブにインストールします」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「ロータスソフトウェア契約書」の画面で契約内容をよく読み、「同意する」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 6 「インストールは正常に終了しました」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

RSA SecurPC

概要

RSA SecurPCは、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

RSA SecurPCは、次のような特徴があります。

- ・ RC4という暗号方式のアルゴリズムを使用しています。
- ・ マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加できます。
- ・ 共有パスワードでファイルを暗号化でき、ファイルを共有できます。
- ・ RSA SecurPCを持っていないユーザと共有することもできます。



チェック!

RSA SecurPCは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は後述の「追加」の手順を参照してRSA SecurPCをインストールしてください。

起動方法

1 「スタート ボタン」→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

2 暗号化/復号化するファイル/フォルダを選択し、右クリック



操作方法については添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

¥SecurPC¥SecurPC.pdf



チェック!

- ・ 上記のファイルを参照するためにはAcrobat Reader 3.0Jが必要です。「Acrobat Reader 3.0J」(P.72)を参照して、インストールしてください。
- ・ 「¥SecurPC¥SecurPC.pdf」ファイル、オンラインヘルプおよび、バージョン情報などに記載されている「Windows 95」は「Windows 98」と読み替えてください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「RSA SecurPCをアンインストールしてよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 5 再起動後、「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

 **チェック!** RSA SecurPCを追加する場合は、フロッピーディスクが1枚必要です。あらかじめ用意しておいてください。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 98」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「複写先を選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「RSA SecurPCへようこそ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 「ランダム鍵の生成」の画面が表示されたら、鍵生成達成率が100%になるまでキーボードからキーを入力するか、またはマウスをダイアログボックス内で動かす
- 7 「ランダム鍵の生成が終了しました。」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 8 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
- 9 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブにバックアップ用フロッピーディスクを挿入し、「OK」ボタンをクリック
「userpref.!!!」ファイルがフロッピーディスクにコピーされます。



チェック!!

- ・NetPCモデルの場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、「ユーザー参照ファイル(userpref.!!!)バックアップができませんでした。確認してOKを押してください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- ・NetPCモデルの場合は、RSA SecurPCをインストールしたフォルダ(通常は「C:\¥SecurPC¥User」フォルダ)にある「userpref.!!!」ファイルを、他のフォルダやネットワークドライブ上のフロッピーディスクなどにバックアップしてください。

- 10 「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 11 「RSA SecurPCのインストレーションが完了しました。」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

VirusScan

概要

コンピュータウイルスの検出、識別、および除去を行います。
コンピュータウイルスを検出した場合は、「PART3 トラブル解決 Q&A」
の「コンピュータウイルス対策について」をご覧ください。



チェック!

VirusScanは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の追加 (P.42) をご覧になりセットアップを行ってください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の
「McAfee VirusScan セントラル」をクリック
「VirusScan セントラル」の画面が表示されます。

VirusScanの利用方法、エマージェンシーディスクの作成方法、タスクの
作成方法は、VirusScan のヘルプを参照してください。

使用上の注意

コンピュータウイルスの検出およびウイルスパターンデータについて

- ・ 本機に添付されているVirusScanでは、新種のウイルスを検出できない場合があります。新種ウイルスに対応するため、ウイルスデータファイルを更新する必要があります。

ウイルスデータファイルは「DATファイル」という名称でネットワーク
アソシエイツ社のホームページに掲載されています。DATファイルは
毎週最新のものにアップデートされています。下記のホームページで
最新版のDATファイルを入手することができます。

<http://www.nai.com/japan/>

また、インターネットに接続できる場合(プロバイダに入会済みの場合)は、「VirusScanセントラル」で「アップデート」ボタンをクリックすることにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。アップデート時に「インターネットアクセス可能ですか?」と表示されたら、「はい」を選択してください。「いいえ」を選択すると、日本国外に電話をかける画面が表示されますので十分にご注意ください。なお、アップデートを中止する場合は、「キャンセル」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・ 新種のウイルスの一部にはVirusScanそのものを最新版にバージョンアップしないと発見できないものがあります。本機に添付されているVirusScanは最新版へのバージョンアップはできません。別売のVirusScanをご購入ください。

別売のVirusScanはBIGLOBEにてオンライン販売も行っております。

ログファイルについて

ログファイルのサイズはログの量により拡張されていきます。「レポート」タブの「ログファイルの最大値」にチェックをしても指定サイズを超えることがあります。

ウイルス監視機能使用時の注意

VirusScanにはWindows上で操作するファイルがウイルスに感染されていないか監視する機能があります。

ウイルス監視機能を有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。性能を優先する場合には、次の手順で無効にしてください。

■ ウイルス監視機能を無効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScanセントラル」をクリック
- 2 「VShield」をクリック
- 3 「システムスキャン プロパティ」の画面の「スキャン」タブの「システムスキャンを有効」をクリックし、チェックマークを外す
- 4 「システムスキャン プロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 5 Windowsを再起動する

■ ウィルス監視機能を有効にする

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリック
- 2 「VShield」をクリック
- 3 「システム スキャン プロパティ」の画面の「スキャン」タブの「システム スキャンを有効」、「システム スキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」をクリックし、チェックマークを付ける
- 4 「システム スキャン プロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック
- 5 Windowsを再起動する

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.2 (プレインストール版)」または「McAfee VirusScan v4.0.3a (プレインストール版)」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。



チェック!

「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 5 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 Windowsを再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan v4.0.2b(ブレインストール版)」または「McAfee VirusScan v4.0.3a(ブレインストール版)」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリック
- 5 「セットアップ方法」の画面が表示されたら、セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリック
ここでは「カスタム」を選択した場合の手順を説明します。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「コンポーネントの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「オプションの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「ブート時にシステムをスキャン」、「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す

メモ

エマージェンシーディスクは「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「McAfee VirusScan セントラル」→「ツール」の「エマージェンシーディスク」をクリックして作成することができます。

- 9 「次へ」ボタンをクリック
- 10 「プログラムフォルダの選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「インストール設定の確認」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 12 「システム領域のスキャンが完了しました。」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

メモ

「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されます。最新の情報を読む場合は「はい」ボタンを読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

- 13 「変更事項」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 14 「インストールが完了しました。」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「終了」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。

追加後は、ウイルス監視機能(VShield)が有効になり、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。本機の性能を優先する場合は、ウイルス監視機能を無効にしてください。ウイルス監視機能を無効にする場合は、前述の「ウイルス監視機能を無効にする(P.40)」をご覧ください。



Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)

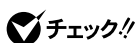
概要

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、パーソナルコンピュータに接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトウェアです。管理方法として、標準化団体DMTF(DeskTop Management Task Force)が規定したDMI(DeskTop Management Interface)およびCIM(Common Information Model)を採用しています。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、以下の機能により構成されます。

- Webブラウザによる情報表示
- システムビューワによる情報表示

操作方法・表示画面の詳細については、「オンラインヘルプ」「ユーザーズガイド」および「リリースノート」をご覧ください。



チェック!

- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してIntel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)をインストールしてください。
- お使いの機種によってはIntel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.22)をご覧ください。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)をご利用になるには、Internet Explorer 4.01 SP2以上が必要です。
- ネットワークプリンタの監視を行っている場合、ネットワークプリンタの情報を取得するために定期的(約5秒間隔)にパケットが送信されます。パケットの送信を行いたくない場合は、「リリースノート」をご覧ください。

- ・Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 with NEC Extensions を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions) をインストールする前にTCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。TCP/IPの設定を行わずに、Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 with NEC Extensions をインストールした場合、本機起動時にエラーが出る場合がありますが、問題はありません。TCP/IPをインストールすることにより、正常に動作するようになります。

起動方法

次の2通りの方法があります。

- 1 タスクトレイの  をダブルクリック
Web ブラウザによる情報表示画面が表示されます。
- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intel LANDesk 管理ツール」→「Client Manager」の中から利用したい機能をクリック
選択した機能の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6.0 with NEC Extensions」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「'Intel LANDesk Client Manager 6.0 with NEC Extensions' とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

✓チェック! 「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「Client Managerを再インストールしたい場合にはコンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」の画面で「Intel LANDesk Client Manager 6.0 (NEC Extension)」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 「製品ライセンス契約」の画面が表示されたら、内容を確認して「はい」ボタンをクリック
- 5 「インストール先の選択」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「コンポーネントの選択」の画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選択し、次へボタンをクリック



NEC拡張機能とはIntel® LANDesk® Client Manager 6.0に対して、NEC独自に拡張した機能です。拡張した機能は、次のようなものがあります。

の機能は標準状態でインストールされます。

の機能は標準状態でインストールされません。

インストールする機能を追加 / 削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで、「変更」ボタンを押してください。

DMITool互換画面()

DMITool互換のユーザI/F(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

次の4つの機能(印)は、DMITool互換画面を選択すると、自動的にインストールされます。いずれかをインストールしたくない場合は、まずDMITool互換画面のチェックを外してください。

USB接続デバイス一覧()

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

モデム一覧()

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

プリンター一覧/プリンタ監視()

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

拡張資産管理()

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0の資産管理機能に、リース情報/棚卸し管理を追加し、リース/棚卸し管理を可能にします。

H/W変更監視

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

TOOL連携

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツール等の起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。

連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionリリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

SMBIOS情報

SMBIOS 情報を管理者等の他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

7 「プログラムフォルダの選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック**8 「ユーザの追加」の画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック**

チェック!

Acrobat Reader 3.0Jがインストールされていない場合、Adobe Acrobat Readerがインストールされていない旨のメッセージが表示されます。「Acrobat Reader 3.0J (P.72)」を参照してインストールを行ってください。

9 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「完了」ボタンをクリック自動的に再起動します。



pcAnywhere 9.0 EX

概要

ネットワーク接続された他のパソコンに本機の画面を表示し、遠隔地から本機を操作することができます。遠隔地からの保守作業などに使用することができます。



チェック!

- ・ pcAnywhere 9.0 EXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してpcAnywhere 9.0 EXをインストールしてください。
- ・ お使いの機種によってはpcAnywhere 9.0 EXは添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション (P.22)」をご覧ください。
- ・ 本機に添付されているpcAnywhere 9.0 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- ・ 他のパソコンから本機を操作するためには、相手側のパソコンに、別売の「DMITool Ver8.1 (pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」または「pcAnywhere (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても別売の「DMITool Ver8.1 (pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- ・ 接続デバイスはIPX (Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・ モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続で利用してください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」の「pcAnywhere 9.0 EX」をクリック

削除

- 1 「削除の準備」手順1～4を行う(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

- 3 「ファイル検出の確認」で「はい」ボタンをクリック



チェック!

共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- 5 「'pcAnywhere 9.0 EX'はシステムから削除されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- 6 「コンポーネントからpcAnywhereをアンインストールしました。今すぐに再起動しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
本機が自動的に再起動します。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「ユーザーの情報」の画面で名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「オンライン使用許諾契約」の画面が表示されたら、契約内容をよくお読みになり、同意の上で「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップの確認」の画面で「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。
- 8 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

Masty Data Backup

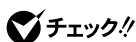
概要

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、高性能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには次のような特徴があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスク、スーパーディスク、Zip、JazおよびTAPEなど)にバックアップできます。
- CD-RWドライブ搭載モデルでは本機添付のDirectCD使用時CD-RW、CD-Rにバックアップできます。
- 日付/曜日/時間を指定すれば、好きなときに自動実行するスケジュールリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T機能を利用した自動バックアップができます。



チェック!

- Masty Data Backupは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してMasty Data Backupをインストールしてください。
- お使いの機種によってはMasty Data Backupは添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション(P.22)」をご覧ください。
- 自動実行を行うには「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup1.0」→「Readme」をクリックし、「はじめに」をお読みください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Masty Data Backup 1.0」
→「Masty Data Backup 1.0」をクリック

削除

- 1 Masty Data Backupを終了する
タスクトレイに時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーのMasty Data Backupを右クリックし、「閉じる」を選択して終了してください。
- 2 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 3 「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup /F」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 5 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック



チェック!!

- ・アンインストール(アンインストールをするプログラム)は、Windows 98の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストールがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルにはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外はすべて隠しファイルとなっています。

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「READMEファイルを読みますか？」で「はい」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。読み終わったら終了させてください。
- 6 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック



CyberAccess

概要

CyberAccessは以下の機能があります。

- **CyberAccess機能** : 「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化したり、操作可能なアプリケーションを限定することができます。使用者のレベルにあわせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるため、複数のモードを使い分けることができます。
- **CyberWarner-NX機能** : Windows98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告のダイアログを表示します。また、ログファイルを採取して保守時に使用することができます。
- その他エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティの機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。



チェック!

- CyberAccessは工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してCyberAccessをインストールしてください。
- ネットワークを利用した集中管理を行うためには別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

CyberAccess機能

■ モードの種類

CyberAccessをインストールすると、以下のモードを利用することができます。

- ・ エキスパートモード : CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
- ・ アドバンスドモード() : コンピュータのシステムをすべて利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
- ・ ベーシックモード() : システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・ セキュリティモード : CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されています。
- ・ 新規作成モード : CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

() CyberAccessインストール時に「カスタム」を選択することで、利用するかどうかを選択することができます。「標準」を選択した場合は、このモードは利用することができません。



チェック! 「カスタム」、「標準」セットアップについては、後述の「追加」の手順を参照してください。

■ 起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」→「利用環境の設定」をクリック
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。

■ CyberWarner-NXを起動/常駐させる方法

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「CyberWarner-NX」をダブルクリック
- 3 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリック



チェック!!

常駐させる場合は「オプション」→「起動時にCyberWarner-NXを実行する」にチェックを付けてください。

- 4 「OK」ボタンをクリック

削除

■ CyberAccess

CyberAccessは、エキスパートモード以外のモードからは削除できません。削除する前に、エキスパートモードに変更してください。次の手順でCyberAccessを削除します。

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「CyberAccessアプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

■ CyberWarner-NX

- 1 「削除の準備」の手順1～3を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「CyberAccessセットアッププログラムへようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先ディレクトリを選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック



インストール先ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいディレクトリを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

5 「CyberAccess」の画面で、セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリック

「標準」を選択した場合は手順10に進む

- ・ 標準 : 以下の設定で自動的にインストールされます。
 - 利用できるモード : エキスパートモード
 セキュリティモード
 - 標準起動モード : エキスパートモード
エキスパート
モードのパスワード : "manager"
- ・ カスタム : 以下の設定をインストール時に変更することができます。
 - 利用できるモード : 以下のモードを追加
 選択可能
 アドバンスドモード
 ベーシックモード
 - 標準起動モード : 任意のモードを設定
 可能
 - エキスパート
モードのパスワード : 任意の文字列に変更
 可能(デフォルトは、
 "manager")



チェック!!

・ 上記設定項目は、それぞれ以下の機能を実現します。

- 利用できるモード : 新規に作成しなくても、インストール直後からあらかじめ準備されているモードです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。
- 標準起動モード : 特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。
- エキスパート
モードのパスワード : CyberAccessの設定を行なうことができる管理者モードであるエキスパートモードのパスワードです。このパスワードを設定することにより、不正なアクセスや CyberAccess の設定変更などを防ぐことができます。

- ・標準起動モードとエキスパートモードのパスワードは、インストール後に変更することができます。
- ・カスタムセットアップを選択したとき、「利用できるモード」には必ず次のモードが設定されます。

エキスパートモード
セキュリティモード

6 インストール時に自動的に作成するモードを選択し、「次へ」ボタンをクリック

7 標準起動モードを選択し、「次へ」ボタンをクリック

8 エキスパートモードのパスワードを設定し、「次へ」ボタンをクリック

9 「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックが付いていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!!** 「CyberAccessサーバ名の入力」はネットワークを利用した集中管理を行なうためのものであり、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。ここでは何も入力しないでください。

10 「CyberWarner」の画面で「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!!** CyberWarner-NXをインストールしない場合は「CyberWarnerをインストール」のチェックを外してください。

11 「セットアップ開始」の画面で「次へ」ボタンをクリック

12 「CyberAccessのセットアップに成功しました。」というメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリック

13 「CyberWarner-NXインストレーション」の画面で「次へ」ボタンをクリック

14 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリック



インストール先ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいディレクトリを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

15 「セットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

16 「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Timer-NX

概要

Timer-NXには以下の機能があります。

1. タイマ機能により、指定した時刻に電源を入れる、またはスタンバイ状態から復帰し、アプリケーションを起動することができます。
2. リング機能により、電話やFAX受信時に本機がスタンバイ状態から復帰し、アプリケーションを起動することができます。
3. オフタイマ機能により、本機の電源を指定した時刻に切る、またはスタンバイ状態にすることができます。

機能の詳細、設定・操作方法についてはオンラインヘルプをご覧ください。



チェック!

- ・Timer-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。Timer-NXをお使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してTimer-NXをインストールしてください。
- ・お使いの機種によってはTimer-NXは添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.22)をご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
Timer-NXの画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Timer-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

- 3 「Timer-NXとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。



チェック!

削除中、Timer-NXが使用している共有ファイルの削除確認メッセージが表示される場合があります。これらの共有ファイルが他のアプリケーションでも使用されている場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。使用されていない場合は、「削除」ボタンをクリックしてください。使用されているか不明な場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。

- 4 「削除されました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「Timer-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NXのセットアップを始めます。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 4 「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」というメッセージ表示されたら、パソコンの絵が描かれているボタンをクリック
インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「ディレクトリ変更」ボタンをクリックし、「ディレクトリ変更」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「Timer-NXのセットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

NEC Soft MPEG1.0

概要

プレーヤ-NXなどで、MPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。

MPEGファイルとしては拡張子が".mpg"のものの他にビデオCD内の拡張子が".dat"のものを再生することができます。

 参照 「プレーヤ-NX」(P.66)



チェック!!

- ・NEC Soft MPEG1.0は、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してNEC Soft MPEG 1.0をインストールしてください。
- ・プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 動作中のアプリケーションをすべて終了する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブを選択する
- 5 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックし、デバイスドライバの一覧を表示させる

- 6 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリック
- 7 「削除」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 8 「デバイスは削除されました」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 9 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 10 本機を再起動する

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」を使用して行います。

- 1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセット
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「ハードウェアの追加」をダブルクリック
- 4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「次へ」ボタンをクリック
- 6 「インストールするデバイスは一覧にありますか？」というメッセージが表示されたら、「デバイスは一覧にない」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 7 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面で「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 8 インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「ディスク使用」ボタンをクリックし、コマンドラインに「<CD-ROMドライブ名>:¥NECMPEG」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 10 画面に「NEC Soft MPEG1.0」と表示されるので、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「完了」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。
- 12 ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



プレーヤ-NX

概要

音楽CD(オーディオCD)、Video CD、カラオケCD、Photo CDを再生表示します。

- ✓ **チェック!**
- ・プレーヤ-NXは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。プレーヤ-NXをお使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してプレーヤ-NXをインストールしてください。
 - ・プレーヤ-NXでMPEG1のファイルやVideo CDのファイルを再生する場合には、NEC Soft MPEG1.0が必要です。NEC Soft MPEG1.0(P.63)を参照して、インストールしてください。
 - ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているとき、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをマウスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でCDプレーヤーを削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、CDプレーヤー、プレーヤ-NXの順で再追加してください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でプレーヤ-NXを削除すると、音楽CDをセットしてもCDプレーヤーは自動起動しません。音楽CDをセットしてCDプレーヤーを自動起動させる場合は、CDプレーヤーを再追加してください。

対応するCD

音楽CD(オーディオCD)、Video CD(Ver1.1)/カラオケCD(Ver1.1)、Video CD(Ver2.0)、Photo CD、Photo CDポートフォリオ

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」の「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリック
プレーヤ-NXの画面が表示されます。

 **チェック!!** 詳しくは、「Option」ボタン→「Help」ボタンをクリックして「プレーヤ-NXのヘルプ」をご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか？」の画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「Folder Selection」の画面で「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 5 「情報」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

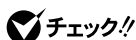
文豪DP/LANシリーズコンバータ

概要

NECワープロ(文豪シリーズ、文豪DPシリーズ、LAN(N5200、PC-PTOS)シリーズ)やWindows版LANシリーズの文書を一太郎や三四郎のデータ形式に変換を行います。

操作の説明や変換における制限事項等については、添付の「アプリケーションCD-ROM」の次のファイルをご覧ください。

<CD-ROMドライブ名>: ¥dpconv¥説明書.jtd



チェック!

- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、工場出荷時の状態では、インストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールしてください。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは、スーパーディスクドライブでは使用できません。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータは文豪ミニシリーズ、文豪JXシリーズの文章を変換することはできません。
- ・文豪DP/LANシリーズコンバータをご使用になる場合は、一太郎8以上もしくは三四郎8以上のソフトウェアが必要です。また、上記のファイル(説明書.jtd)を参照するには一太郎8以上が必要です。

起動方法

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、変換を行いたいユーティリティをクリック

変換を行いたい文書形式に該当する変換ユーティリティを起動します。

「DP-CARD + → 三四郎文書変換」 ... NECカード型データベースソフトウェアの文書を三四郎文書に変換します。

「DP-PLAN → 三四郎文書変換」 ... NEC表計算ソフトウェアの文書を三四郎文書に変換します。

「DP-WORD → 一太郎文書変換」 ... NECワープロの文書を一太郎文書に変換します。

「NECAI → ATOK辞書移行ツール」 ... 学習単語をATOK登録形式に変換します。

削除

1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)

2 「インストールと削除」の一覧から「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

 **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか？」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

5 Windowsを再起動する

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「文豪DP/LANシリーズコンバータ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「お使いのコンピュータの機種を選択してください。」というメッセージが表示されたら、「PC98-NXシリーズ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「セットアップは次のディレクトリに文豪DP/LANシリーズコンバータをインストールします。」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 6 「セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Acrobat Reader 3.0J

概要

PDF(Portable Document Format)形式の電子マニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができます。

- ✔ **チェック!** Acrobat Reader 3.0Jは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してAcrobat Reader 3.0Jをインストールしてください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader 3.0J」をクリック
Acrobat Reader 3.0J の画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- 1 「プロダクトの選択」の手順1~9を実行する(P.21)
- 2 「プロダクトの選択」で「Acrobat Reader」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 3 「Adobe Acrobat Reader 3.0Jインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 6 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

メモ

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「終了」ボタンをクリック
メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。
読み終えたら終了させてください。
- 8 「Adobe Acrobat 3.0Jセットアップ」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

英語モードフォント

日本語モードフォント、英語モードフォントについて

日本語モードフォントのまま、海外製Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントのまま、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「㊞」、「®」→「㊟」、 「\」→「¥」	「正しく表示される」
英語モードフォント	正しく表示される	「㊞」→「C」、「㊟」→「R」、 「¥」→「\」

 **チェック!!** 英語モードフォントは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。
「英語モードフォントへの切り替え」の方法でインストールしてください。

英語モードフォントへの切り替え(追加)

使用するフォントを日本語モードフォントから英語モードフォントに切り替えます。

- 1 CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「フォント」をダブルクリック
- 4 「Fonts」の画面が表示されたら、「ファイル」メニュー→「新しいフォントのインストール」をクリック
- 5 「フォントの追加」の画面が表示されたら、「ドライブ」にCD-ROMドライブ(通常は「Q:」)を指定し、「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリック
- 6 「フォントの一覧」のリストボックスに「EnglishModeFixedSys (Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishMode Termina(Set#6)」が表示されることを確認してから、「すべて選択」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック
「Fonts」フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォントに切り替わります。



チェック!!

使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、「ㇿ」、「ㇽ」、「ㇾ」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

日本語モードフォントへの切り替え(削除)

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「フォント」をダブルクリック
- 3 「Fonts」の画面が表示されたら、「フォント」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem (Set#6)」「EnglishModeTerminals(Set#6)」(実際には名前が短く表示されることもあります)を選択し、「ファイル」の「削除」を選択する
- 4 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。

 **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのまま、海外版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)、(\) が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

液晶ディスプレイ調整ツール

概要

液晶ディスプレイ調整ツールは、液晶ディスプレイの画面を調整する場合に利用します。お使いの液晶ディスプレイにより、操作方法が異なりますので、お使いの液晶ディスプレイの型番にあわせてお読みください。



チェック!

- ・CRTディスプレイでは、ご利用になれません。
- ・デジタルTF T液晶ディスプレイ(F14T52、F15T42、F15S32)をご利用の場合は、本ツールを使用して、画面調整する必要はありません。
- ・液晶ディスプレイ調整ツールは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照して液晶ディスプレイ調整ツールをインストールしてください。
- ・必要に応じて液晶ディスプレイに添付されているマニュアルもご覧ください。
- ・お使いの機種によっては液晶ディスプレイ調整ツールは添付されていない場合があります。「知っておきたい便利な機能とアプリケーション」(P.22)をご覧ください。

起動方法

- F14T41W, F18S1Wをご利用の場合

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「液晶ディスプレイ調整ツール1」をクリック

- F15R42W をご利用の場合

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリック

削除

■ F14T41W, F18S1Wをご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール1」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツール1」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

■ F15R42W をご利用の場合

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ調整ツール2」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

■ F14T41W, F18S1Wをご利用の場合

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「液晶ディスプレイ調整ツール(F14T41W/B, F15T2W, F18S1W)」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「ファイルコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
セットアップ画面が終了したら、セットアップは終了です。

■ F15R42W をご利用の場合

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行する(P.21)
- 2 「液晶ディスプレイ調整ツール(F15R42W)」をクリックし、「インストール」ボタンをクリック
- 3 「液晶ディスプレイ画面調整ツール2 セットアップ」の画面が表示されたら、液晶ディスプレイの「PROCEED」ボタンを押す
- 4 画面中央に表示されたOSDメニューと手順3で表示されたOSDメニューが同じデザインであることを確認する
- 5 確認したら、液晶ディスプレイの「EXIT」ボタンを押す
画面中央のOSDメニューが消えます。
- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7 「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「ファイルのコピーの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

9 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

これで追加の手順は終了です。

Easy CD Creator Lite

概要

Easy CD Creator Liteは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。

機能の詳細や操作方法についてはEasy CD Creator Liteのヘルプをご覧ください。



チェック!!

- Easy CD Creator Liteは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してEasy CD Creator Liteをインストールしてください。
- Easy CD Creator Liteは、CD-RWドライブ搭載モデルのみ添付されています。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec Easy CD Creator Lite」の「Easy CD Creator Lite」をクリック
Easy CD Creator Liteの画面が表示されます。

削除



チェック!!

DirectCDをインストールしている場合は、Easy CD Creator Lite を削除する前にDirectCDを一度削除し、Easy CD Creator Lite 削除後、再追加してください。

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adaptec Easy CD Creator Lite」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「共有ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「すべていいえ」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 本機を起動し、CD-ROMドライブに「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」のCD-ROMをセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「インストールと削除」タブを選択する
- 5 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 6 「次へ」ボタンをクリック
- 7 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」に次のように入力し、「完了」ボタンをクリック

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:¥EASYCD¥DISK1¥SETUP.EXE
- 8 「Adaptec Easy CD Creator Lite」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「製品ライセンス契約」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック

- 10** 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。



インストール先ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいディレクトリを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



チェック! 「読み取り専用ファイルの検出」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

- 11** 「アップデートフロッピーディスクのインストール」の画面が表示されたら、「スキップ」ボタンをクリック

- 12** 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「終了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



DirectCD

概要

DirectCDは、CD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録することができます。

機能の詳細や操作方法についてはDirectCDのヘルプをご覧ください。



チェック!!

- DirectCDは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。お使いになる場合は、後述の「追加」の手順を参照してDirectCDをインストールしてください。
- DirectCDは、CD-RWドライブ搭載モデルのみ添付されています。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec DirectCD」の「Adaptec DirectCD」をクリック
DirectCDの画面が表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行する(P.19)
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adaptec DirectCD」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック



チェック!!

共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

- 4 「コンピューターからプログラムを削除」の画面に「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

追加

- 1 本機を起動し、CD-ROMドライブに「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」のCD-ROMをセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 4 「インストールと削除」タブを選択する
- 5 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 6 「次へ」ボタンをクリック
- 7 「インストールプログラムの実行」の画面の「インストールプログラムのコマンドライン」に次のように入力し、「完了」ボタンをクリック

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
Q:¥DIRECTCD¥DISK1¥SETUP.EXE
- 8 「Adaptec DirectCDインストール」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 9 「DirectCD ライセンス契約書」の画面で内容を確認し、「はい」ボタンをクリック

- 10** 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 11** 「アップデートフロッピーディスクのインストール」の画面が表示されたら、「スキップ」ボタンをクリック

- 12** 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」がチェックされていることを確認し、「終了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

2

他のOSを利用する

この章の読み方

利用するOSの先頭ページから順番にお読みください。

この章の内容

Windows 98でMS-DOSモードを利用する	88
Windows NT 4.0を利用する	94
Windows 2000を利用する	146

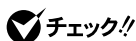


Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

本機は、MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するために、MS-DOSモードで起動することができます。



チェック!!

プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用できないものがあります。特にPC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多くは動作しません。ご使用のアプリケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用する方法は以下の2種類があります。

■ Windows 98起動時のMS-DOSモード

- 1 本体の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面が表示されたら、すぐに【Ctrl】を「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで押し続ける
- 3 「5. Command Prompt only」を選択し、【Enter】を押す
MS-DOSモードが起動します。

■ Windows 98終了後のMS-DOSモード

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
MS-DOSモードが起動します。

MS-DOSモードを終了する

- Windows 98起動時にMS-DOSモードで起動した場合

1 電源ボタンを押す

- Windows 98終了後にMS-DOSモードで起動した場合

1 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

用語 MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。

「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。

「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

「MS-DOSプロンプト」画面が表示されます。なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOSモード」もしくは「MS-DOSプロンプト」からは使用できないものもあります。



チェック!

- ・MS-DOSの通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」をフルスクリーン表示にして実行してください。
- ・Windows 98のスクリーンセーバを設定し、フルスクリーン表示のMS-DOSプロンプトで、マウス操作のみを行っている場合、Windows 98のスクリーンセーバが動作する場合があります。
この場合は、次の手順でスクリーンセーバが動作しないように設定してください。

【Alt】を押しながら【Enter】を押して、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に切り替える

【Alt】を押しながらスペースキーを押して、MS-DOSプロンプトのメニューを表示させる

メニューから「プロパティ」を選択する

「MS-DOSプロンプトのプロパティ」の画面が表示されたら、「その他」タブをクリック

「ウィンドウがアクティブな場合」の「スクリーンセーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリック

【Alt】を押しながら【Enter】を押して、ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替える

MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたはCD-RWドライブを利用する

NetPC以外のモデルには、CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブが内蔵されていますが、工場出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブまたはCD-RWドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブまたはCD-RWドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

以降の説明では、CD-ROMドライブを例に説明しています。CD-RWモデルを使用している場合は、「CD-ROMドライブ」を「CD-RWドライブ」に、「CD-ROMドライバ」を「CD-RWドライバ」に読み替えてください。



チェック!!

CD-RWドライブは、MS-DOSモードでは、CD-ROMドライブとしてのみ使うことができます。

現在のMS-DOS設定を使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック
- 2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック
本機がMS-DOSモードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加されSETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windowsが再起動します。

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

6 「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック

Windowsを再起動します。

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリック

8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリック

MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

新しいMS-DOS設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック

2 CドライブのWindowsディレクトリの「COMMAND.COM」をクリック

プログラム名が反転表示されます。

3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック

4 「プロパティ」の画面が表示されたら、「プログラム」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリック

- 5 「プログラムの詳細設定」の画面が表示されたら、「MS-DOSモード」をクリックし、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックを付ける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。
- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7 「OK」ボタンをクリック
- 8 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック
MS-DOSモードが起動します。
- 9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライブがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。
- 10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windowsが再起動します。
- 11 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリック
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

サウンド機能

MS-DOSモードのサウンド機能は、工場出荷時の設定では有効になっていません。

MS-DOSモードにおいて、サウンド機能を使用する場合は、次の設定方法にしたがって設定を行ってください。

なお、Windows 98の「MS-DOSプロンプト」ではサウンド機能は使用できません。



チェック!

MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lをお使いの場合は、MS-DOSモードおよびWindows 98の「MS-DOSプロンプト」ではサウンド機能は使用できません。

設定方法

「c:¥autoexec.bat」および「c:¥windows¥dosstart.bat」の2つのファイルの最後に、次の3行を追加してください。

<追加内容>

```
@copy c:¥ds-xg¥dos4gw.exe >NUL
```

```
@c:¥ds-xg¥setupds.exe /s >NUL
```

```
@del dos4gw.exe >NUL
```

追加には、メモ帳、ワードパッド等のエディタを使用してください。
エディタの使用方法については、エディタのヘルプを参照してください。



Windows NT 4.0を利用する

本機で別売のWindows NT Workstation 4.0やWindows NT Server 4.0 (以下、Windows NT 4.0)を利用する場合のセットアップ手順およびアップデート手順について説明します。ただし、NetPCモデルは、Windows NT Workstationのみ利用できます。

Windows NT 4.0をセットアップする前に

セットアップする前の注意

- NetPCモデルでフロッピーディスクを使用する場合には、別売りの管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)ならびに管理者用FDドライブ接続ケーブル(PC-NF-U002)が必要です。
- NetPCモデルでCD-ROMをご使用になる場合は、あらかじめ本機と同じネットワーク上にある任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。その際、Windows NT Workstation 4.0、Windows NT Server 4.0、Windows NT Workstation 3.51 または Windows NT Server 3.51のいずれかがインストールされたコンピュータをご使用ください。
- データをバックアップしてください。
ご自分で作成されたデータはセットアップによってすべて消去されます。セットアップを始める前に、必ずバックアップをとってください。
- 別売の周辺機器を取り外し、本機を購入したときの構成に戻してください。『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態でセットアップを行ってください。NetPCモデルの場合は、フロッピーディスクドライブが必要です。セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- スーパーディスクドライブとフロッピーディスクドライブの両方のドライブを搭載しているモデルの場合は、フロッピーディスクドライブ搭載モデルとしてWindows NT 4.0のセットアップを行ってください。
- セットアップは途中でやめないでください。
セットアップを始めたなら、本書の手順通りに最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初からセットアップを行ってください。

- ・ 別売のアプリケーションもセットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションもセットアップによってすべて消去されます。セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。
- ・ 「アプリケーションCD-ROM」の¥NT40ディレクトリに、Windows NTの補足事項を記述した「README.TXT」があります。セットアップを行う前に必ずお読みください。
- ・ セットアップを始める前に後述の「本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意（P.135）」をご覧ください。
- ・ Windows NTをご使用になる場合には、2000年問題対応が必要になります。NECのインターネットのホームページ「98Information」で、コンピュータの2000年問題対応について、情報を提供していますので、セットアップ後に必ず次のアドレスにアクセスし、Windows NTの2000年問題対応の情報および修正プログラムを入手して適用してください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

準備

セットアップを開始する前に、次のものを準備してください。

- ・ フロッピーディスク
 - ・ 1.44Mバイトでフォーマットしてください。
 - ・ フォーマット時にシステムの転送は行わないでください。
- < MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S、
 MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、
 MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
 → 3枚
- < MA45L/R、MA50J/F、MA43H/Fの場合 > → 2枚
- ・ 次の内容を書いたラベルを貼っておいてください。
- < MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S、
 MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、
 MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >
 「Windows NT 4.0アップデートディスク1～2」
 「システム修復ディスク」

< MA45L/R、MA50J/F、MA43H/Fの場合 >

「Windows NT 4.0アップデートディスク1」

「システム修復ディスク」

- ・ **アプリケーションCD-ROM**

- ・ **Windows NT Workstation 4.0の場合**

「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1,Disc2 (別売)以下

「Windows NT CD-ROM」)

「Windows NT Workstation Setup Disk1 ~ Disk3 (別売)以下「Windows NT Setup Disk」)

- ・ **Windows NT Server 4.0の場合**

「Windows NT Server CD-ROM Disc1,Disc2 (別売)以下「Windows NT CD-ROM」)

「Windows NT Server Setup Disk1 ~ Disk3 (別売)以下「Windows NT Setup Disk」)

- ・ 「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク (Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)搭載モデルの場合のみ添付)

- ・ **NetPCモデルの場合**

「管理者用FDドライブキット(PC-NF-U001)(別売)に添付されている次のフロッピーディスク

「起動ディスク#1」

「起動ディスク#2」

「システムインストールディスク(起動用)(本機添付)

- ・ 「サービスパック5」CD-ROMを入手する

セットアップの途中で「サービスパック5」をインストールする手順があります。

「サービスパック5」のCD-ROMをあらかじめ入手してください。

以下のアドレスに入手法が記載されています。

<http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP5/default.htm>

手順

次の手順で、本機にWindows NT 4.0をセットアップし、アップデートを行います。

必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップデートを行ってください。

- ・「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成
- ・システム設定の変更
- ・スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定
- ・NetPCモデルの設定
- ・Windows NT 4.0のセットアップ
- ・NetPCモデルでWindows NTをセットアップする
- ・ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)
- ・ドライバのコピー
- ・USB接続のキーボードドライバのセットアップ
- ・ドライバのアップデート
- ・サービスパック5のインストール
- ・内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- ・内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- ・内蔵FAXモデムボードのセットアップ
- ・スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ
- ・液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ



チェック!

ドライバのコピー、アップデート、セットアップを行う場合はAdministrator権限を持ったユーザが行ってください。

本機にログオンしているお客様のアカウントがAdministrator権限を持っているかわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。Administrator権限とは、コンピュータの全体的な構成を管理するための管理者権限のことです。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。異なるドライブ構成で利用する場合は、ドライブ番号を読み替えてください。

Cドライブ : Windows 98がインストールされているドライブ
およびWindows NT 4.0をインストールするドライブ

Aドライブ : フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ

Qドライブ : CD-ROMドライブ

BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。以下の説明は、日本語で表示されたメニューで説明しています。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定」をご覧ください。

「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成

次の手順で「Windows NT 4.0アップデートディスク」を作成します。



チェック!!

NetPCモデルの場合は、本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。

1 内蔵ハードディスクからWindows 98を起動する

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック

3 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブに、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする
あらかじめ用意しておいたフロッピーディスクのうち、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」というラベルを貼ったものです。

4 フロッピーディスクにファイルをコピーする
MS-DOSプロンプトから次のように入力します。



チェック!!

CDNTUPの後のフロッピーディスクドライブ名にコロンの「:」を付けないでください。

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/C、
MA55J/C、MA50J/C、MA45L/R、MA43H/Fの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

CDNTUP A【Enter】

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA50J/Fの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

CDNTUP2 A【Enter】

< MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/Cの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

CDNTUP3 A【Enter】

画面の指示にしたがって「Windows NT 4.0アップデートディスク」
の作成を行ってください。

5 「「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成が完了しま
した。…」と表示されたらフロッピーディスク、CD-ROMを取り
出す

6 「Service Pack 5」をCD-ROMドライブに、「Windows NT 4.0
アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブに
セットする



チェック!

Internet Explorerが起動した場合は、右上の ☐ をクリックして終了してく
ださい。

7 「スタート ボタン」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をク
リック

8 次のように入力する

Q:【Enter】

CD ¥I386【Enter】

COPY HAL.DLL A:【Enter】

以上で、「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成は終了です。
次に「システム設定の変更」へ進んでください。

システム設定の変更

- MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA50J/F、MA43H/Fの場合
BIOSセットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニュー セットアップを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる

3 メニューバーの「詳細」で次のように設定する



チェック!

MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA50J/F、MA43H/Fの場合は、シリアルポートBをサポートしていませんので、設定する必要がありません。

- ・ プラグ&プレイOS : いいえ
- ・ 周辺機器設定
 - シリアルポートA : 使用する
 - シリアルポートB : 使用する
 - パラレルポート : 使用する



チェック!

PS/2 109キーボードをお使いの場合は「メイン」メニューで次のように設定してください。

- ・ キーボード機能
 - USBレガシー機能 : 使用しない

4 メニューバーの「終了」の「変更を保存して終了する」でBIOS セットアップメニューを終了する 自動的に再起動します。

次にスーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.102)に、NetPCモデルをお使いの方は、「NetPCモデルの設定」(P.103)に、それ以外のモデルをお使いの方は、「Windows NT 4.0のセットアップ」(P.107)へ進んでください。

■ MA46H/Sの場合

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴ画面で、「Press <F2> -To Enter BIOS Setup」と表示されたら、【F2】を押してBIOSセットアップメニューを起動する
- 3 「PCI/Plug and Play Setup」メニューで、次のように設定する
 - ・ Plug and Play Aware O/S:No
- 4 「Save Settings and Exit」でBIOSセットアップメニューを終了させる
自動的に再起動します。

次に「Windows NT 4.0のセットアップ」(P.107)へ進んでください。

■ MA45L/Rの場合

BIOSセットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの画面で、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる
- 3 メニューバーの「Advanced」の「Plug and Play Setup」の「Plug and Play Aware O/S」が「No」になっていることを確認し、【Esc】を押す
- 4 メニューバーの「Advanced」の「Power Management Setup」の「Power Management/APM」を「Enabled」にし、【Enter】を押す
- 5 メニューバーの「Exit」の「Exit Saving Changes」を選択し、【Enter】を押す

- 6** 「Save current setting and exit」のダイアログボックスが表示されたら、【Enter】を押す
自動的に再起動します。

次に「Windows NT 4.0のセットアップ」(P.107)へ進んでください。

スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定

3.5インチベイにスーパーディスクドライブが搭載されているモデルでは、「Windows NT Setup Disk」(フロッピーディスク)を使ったセットアップは行えません。

「Windows NT CD-ROM Disc」(CD-ROM)だけを使ってWindows NTのセットアップを行う必要があります。

BIOSセットアップメニューを以下のように設定することによってCD-ROMからのWindows NTのセットアップが可能になります。

- 1** 本機の電源を入れる
- 2** 「NEC」ロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押す
- 3** メニューバーの「起動」で、「ATAPI CD-ROMドライブ」を【+】【-】で起動デバイスの「1.」に移動する
この設定は、デバイスの起動順位を設定するものです。Windows NTのセットアップ後は元に戻してください。
- 4** メニューバーの「メイン」の「フロッピーディスクA:」およびメニューバーの「詳細」の「周辺機器設定」の「フロッピーディスクコントローラー」が「使用しない」になっていることを確認する
「使用しない」以外になっている場合は、【+】【-】で「使用しない」を選択する
- 5** メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】を押す
- 6** 「はい」を選択し、【Enter】を押す
BIOSセットアップメニューの終了後、Windows NTのセットアップがCD-ROMドライブから行えます。

「Windows NT 4.0のセットアップ」(P.107)に進んでください。

NetPCモデルの設定

NetPCモデルの場合は、セットアップする前に起動ディスクの環境の変更とシステム設定を変更する必要があります。

■ 起動ディスクの環境の変更

 **チェック!!** 起動ディスクは、あらかじめ複製を行ない、複製したものを使用してください。また、ライトプロテクトをかけない状態でご使用ください。

起動ディスクは、標準で次の設定が行われています。

IPアドレス : DHCPによる割り当て
 コンピュータ名 : NETFINE
 ドメイン : なし
 ユーザ名 : ADMINISTRATOR

利用する環境に応じ、edit等のエディタを用いて、起動ディスクの環境ファイルを修正してください。

 **チェック!!** できる限りドメインにログオンする設定にしてください。

1 「アプリケーションCD-ROM」の「¥NDIS2」フォルダにある次のファイルを「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」に上書きコピーする

 **チェック!!** 本機とネットワークにて接続するCD-ROMドライブを内蔵したコンピュータなど、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが利用できるコンピュータでコピーを行ってください。

「起動ディスク#1」

¥NDIS2 ¥CONFIG.SYS → ¥CONFIG.SYS

¥NDIS2 ¥PROTOCOL.INI → ¥LANMAN.DOS ¥PROTOCOL.
 INI

¥NDIS2 ¥ACCND.DOS → ¥LANMAN.DOS ¥DRIVERS ¥
 ETHERNET ¥EN1207D ¥ACCND.
 DOS

「起動ディスク#2」

¥NDIS2 ¥PROTOCOL.INI → ¥LANMAN.DOS ¥PROTOCOL.
INI

CD-ROMドライブがQドライブ、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

「起動ディスク#1」

A:【Enter】
CD ¥【Enter】
COPY Q: ¥NDIS2 ¥CONFIG.SYS【Enter】
CD ¥LANMAN.DOS【Enter】
COPY Q: ¥NDIS2 ¥PROTOCOL.INI【Enter】
CD DRIVERS ¥ETHERNET【Enter】
MD EN1207D【Enter】
CD EN1207D【Enter】
COPY Q: ¥NDIS2 ¥ACCND.DOS【Enter】

「起動ディスク#2」

A:【Enter】
CD ¥LANMAN.DOS【Enter】
COPY Q: ¥NDIS2 ¥PROTOCOL.INI【Enter】

2 「起動ディスク#1 および 起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BATファイル」を次のように編集する

AUTOEXEC.BAT
@ECHO OFF
rem A:¥DMICHECK.EXE /SW=B,J,K,M,Y ← remを追加
rem IF ERRORLEVEL 1 GOTO NT40 ← remを追加
rem ADDDRV WIN95.DRV ← remを追加
:
:

3 「起動ディスク#1」および「起動ディスク#2」の「PROTOCOL.INI」ファイルの「IPアドレス」を次のように変更する

✓ **チェック!!** DHCPを利用する環境では、本項目を修正する必要はありません。

[TCPIP_XIF]

DISABLEDHCP = 1

← DHCPによる割り当てを無効にします。

IPADDRESS0 = 10 0 0 1

← IPアドレスを指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

SUBNETMASK0 = 255 0 0 0

← サブネットマスクを指定します。

4 「起動ディスク#2」の「LANMAN.INI」ファイルの「コンピュータ名・ユーザ名」を次のように変更する

[workstation]

computername = NETFINE

コンピュータ名を指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

5 「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルの「ドメイン名」「ユーザ名」を次のように変更する

✓ **チェック!!** ドメインにログオンしない場合は、ドメイン名にSTANDALONEを指定してください。

NET LOGON /D:domain user

domainにはログオンするドメイン名、userにはユーザ名を指定します。

以上で起動ディスクの環境の変更は終了です。
次に「 ■ システムの設定を変更する 」に進んでください。

■ システムの設定を変更する

BIOSの設定を以下のように設定してください。

Windows NTのセットアップ後、元に戻す必要があります。現在の設定を控えておいてください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの表示画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押す

3 メニューバーの「メイン」で次のように設定する

フロッピーディスクA:1.44/1.25 Mb 3.5"

4 メニューバーの「起動」で「取り外し可能デバイス」を選択し、【+】を押してリストの一番上に移動して以下のようにする

1. [取り外し可能デバイス]
2. [ハードディスク]
3. [ネットワークブート]
4. [ATAPI CD-ROM ドライブ]

5 メニューバーの「終了」で「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】を押す

以上でシステムの設定は終了です。

「Windows NT 4.0のセットアップ (P.107)に進んでください。

Windows NT 4.0のセットアップ

次の手順でセットアップを行ってください。設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0添付の『Microsoft Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。



チェック!!

3.5インチベイに搭載されているドライブの種類によって、セットアップの手順が異なります。お使いのモデルに該当する箇所をご覧ください。

- ・NetPCモデルの場合
- ・フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合(P.110)
フロッピーディスクドライブとスーパーディスクドライブの両方のドライブを搭載しているモデルをご使用の場合もここをご覧ください。
- ・スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合(P.113)

■ NetPCモデルの場合

- 1 「起動ディスク #1」をフロッピーディスクドライブにセットし、本機の電源を入れる
- 2 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク #2」をセットし、【Enter】を押す
- 3 ユーザ名を聞かれたら、ユーザ名を入力する
標準では「ADMINISTRATOR」が設定されています。

- 4 ユーザのパスワードを入力する
ドメインにログオンしない設定(STANDALONE)の場合、「ログオンしましたがドメインには認識されませんでした」という内容のメッセージが表示されますが、問題はありません。
他にエラーが表示されない場合は、先にお進みください。

- ✓チェック!!
- ・手順4により以前にネットワークコンピュータの共有資源に接続していた場合は、その共有資源に再接続されます。その際、手順5は必要ありません。
 - ・以前に接続していたネットワーク環境との違いにより、接続修復エラーとなる場合があります。この場合、「接続のロードを続けますか?(Y/N)」と表示された場合は【Y】を、「再接続しますか?(Y/N)」と表示された場合は【N】を入力してから手順5に進んでください。

- 5 ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークで接続するので、コマンドプロンプトから次のように入力する

NET USE <ドライブ名:> * <ネットワークコンピュータ名>
* <ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ共有名>
【Enter】

パスワードを聞かれた場合は、共有名のパスワードを入力してください。

- 6 FDISKコマンドで領域の確保を行う
領域の確保を行わない場合は手順12に進んでください。

- ✓チェック!!
- ・FDISK使用法は、『活用ガイド 再セットアップ編』PART1 再セットアップする」の「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」をご覧ください。
 - ・Cドライブ(セットアップするドライブ)の状態がアクティブになっていることを確認してください。アクティブになっていない場合は、FDISKにてアクティブにした後、以降の手順を行ってください。
 - ・Windows NTをセットアップするドライブは、1Gバイト以上の容量が必要です。

- 7 領域の確保後、「ドライブAにMS-DOSのシステムディスクをいれてください。」のメッセージが表示された場合は、「起動ディスク #1」をフロッピーディスクドライブにセットして何かキーを押す

- 8 「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク #2」をセットして何かキーを押す
- 9 ユーザー名を聞かれたら、ユーザ名を入力する
標準では「ADMINISTRATOR」が設定されています。
- 10 ユーザのパスワードを入力する
ドメインにログオンしない設定(STANDALONE)の場合、「ログオンしましたがドメインには認識されませんでした」という内容のメッセージが表示されますが、問題はありません。
他にエラーが表示されない場合は、先にお進みください。
- 11 ハードディスクを初期化するので、以下のように入力する
FORMAT <フォーマットするドライブ>:【Enter】
- 12 ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ(共有したドライブ)に「Windows NT CD-ROM Disc1」をセットする
- 13 MS-DOSプロンプトから次のように入力する
<共有したCD-ROMドライブ番号>:¥I386¥WINNT /B【Enter】
- 14 画面の指示にしたがってセットアップを続ける
- 15 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「■フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合」の手順3へ進む

■ フロッピーディスクドライブ搭載モデルの場合

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Setup Disk1」をセットし、CD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM Disc1」をセットする
- 2 画面の指示にしたがってセットアップディスクを入れ替える
- 3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
- 4 「IDE CD-ROM(ATAPI 1.2)PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押して手順13に進む
Ultra SCSIインタフェースボード搭載モデルの場合は「検出のスキップ」を選択する
- 5 「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されたら、「追加デバイスの指定」を選択する
- 6 デバイスの一覧から「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す
- 7 ドライバが入っているフロッピーディスクをセットするように表示されるので、フロッピーディスクドライブに「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xxPCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す
- 8 ドライバの一覧から次のものを選択し、【Enter】を押す
「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

9 認識した大容量記憶装置の一覧に次のものが追加されていることを確認し、追加デバイスの指定を選択する

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

✔ **チェック!** デバイスが追加されない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

10 一覧から「IDE CD-ROM(ATAPI1.2)PCI IDE Controller」を選択し、【Enter】を押す

11 画面の指示にしたがって、セットアップディスクを入れ替える

12 認識した大容量記憶装置の一覧に次のものが追加されていることを確認し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

✔ **チェック!** ここで「続行するにはEnterキーを押してください。シリンダの数が1024を超えるハードディスクが存在します」と表示されることがあります。この画面では【Enter】を押して先に進んでください。

13 ライセンス契約画面が表示されるので、内容を確認して【F8】を押す

「PageDown」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

✔ **チェック!** 本機に他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

14 キーボードの種類を聞いてくるので、「106日本語キーボード」を選択する

ここでは、接続しているキーボードの種類に関わらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

- 15** 「106日本語キーボードでよろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す
USB接続キーボードドライバの変更は、Windows NT本体のセットアップ後に行います。
- 16** 画面の指示にしたがってセットアップを続行する
- 17** 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で、【↑】を押して「コンピュータ:標準PC」を選択し、【Enter】を押す
- 18** 「インストールするコンピュータの種類を変更します。」の画面で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す
- 19** 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、【Enter】を押す
- 20** 「ハードウェアメーカーから提供されたディスク…」の画面で「PC98-NX Mate NX」を選択し、【Enter】を押す
- 21** 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で「コンピュータ:PC98-NX Mate NX」が表示されていることを確認し、【Enter】を押す
- 22** Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。
NTFSファイルシステムをご使用になる場合には、FATファイルシステムでWindows NT 4.0のセットアップを行った後、ディスクアドミニストレータ、またはコマンドプロンプトからconvertコマンドを使用してNTFSファイルシステムに変換してください。
FATファイルシステムとNTFSファイルシステムの詳細は、『Windows NTファーストステップガイド』をご覧ください。
- 23** 画面の指示にしたがって、セットアップを続行する

24 ファイルのコピー終了後、画面の指示にしたがいドライブよりフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、コンピュータを再起動する

以上で、Windows NT 4.0のテキストセットアップは終了です。
次に「■グラフィックセットアップ」(P.117)へ進んでください。

■スーパーディスクドライブ搭載モデルの場合



チェック!

前述の「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.102)でBIOSの設定を変更してからセットアップを行ってください。

1 Ultra SCSIインタフェースボード搭載モデルの場合は手順6に進む

2 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM Disc1」をセット、フロッピーディスクドライブに「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をセットする



チェック!

「Windows NT 4.0アップデートディスク1」は手順27まで取り出さないでください。

3 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

4 画面の指示にしたがう
「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。

5 「IDE CD-ROM(ATAPI1.2)PCI IDE Controller」が表示されていることを確認し、【Enter】を押し、手順16に進む

6 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM Disc1」をセットする

7 「セットアップはコンピュータのハードウェア構成を検査しています」の画面が表示されたら、【F6】を押す

8 「セットアップはシステムにインストールされている1つ以上の大容量記憶装置の種類を判断できませんでした。」の画面が表示されたら、「追加デバイスの指定」を選択する

9 「次の一覧から使用するSCSI アダプタの種類…」と表示されたら、「デバイスの一覧」から「その他」を選択し、【Enter】を押す

10 ドライバが入っているフロッピーディスクをセットするように表示されるので、フロッピーディスクドライブに「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller (Windows NT® 4.0)ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

11 ドライバの一覧から次のものを選択し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

12 「次の大容量記憶装置をサポートするドライバを読み込みます」の一覧に、次のものが追加されていることを確認する

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

13 追加されていることが確認できたら、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をセットし、【Enter】を押す

 **チェック!** 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」は、手順27まで絶対に取り出さないでください。誤って取り出してしまった場合、セットアップが途中でできなくなることがあります。

14 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

15 認識した大容量記憶装置の一覧に、次のものが追加されていることを確認し、【Enter】を押す

「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(NT 4.0)」

16 「シリンダの数が1024を越えるハードディスクが存在します。」と表示された場合は、【Enter】を押す

17 ライセンス契約画面が表示されるので、内容を確認して【F8】を押す
「PageDown」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップはできません。

 **チェック!!** 本機に他のWindows NTがインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。

18 キーボードの種類を聞いてくるので、「106日本語キーボード」を選択する
ここでは、接続しているキーボードの種類に関わらず、「106日本語キーボード」を選択してください。

19 「106日本語キーボードでよろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す
USB接続キーボードドライバの変更は、Windows NT 4.0本体のセットアップ後に行います。

20 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面が表示されたら、「コンピュータ:標準PC」を選択し、【Enter】を押す

21 「インストールするコンピュータの種類を変更します。」の画面で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、【Enter】を押す

22 ハードウェア提供のサポートディスクをセットするように表示されるので、【Enter】を押す

23 「ハードウェアメーカーから提供されたディスク…」の画面で「PC98-NX Mate NX」を選択し、【Enter】を押す

24 「コンピュータには、次のハードウェアとソフトウェアがあります。」の画面で「コンピュータ:PC98-NX Mate NX」が表示されていることを確認し、【Enter】を押す

25 Windows NTをインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用してパーティションをフォーマット」を選択してください。
NTFSファイルシステムをご使用になる場合には、FATファイルシステムでWindows NT 4.0のセットアップを行った後、ディスクアドミニストレータ、またはコマンドプロンプトからconvertコマンドを使用してNTFSファイルシステムに変換してください。
FAT ファイルシステムとNTFS ファイルシステムの詳細は、『Windows NT ファーストステップガイド』をご覧ください。

26 画面の指示にしたがって、セットアップを続行する

27 ファイルのコピー開始後、「次のラベルのついたディスクをドライブA:に挿入してください」と表示されたら、フロッピーディスクドライブに「Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller(Windows NT® 4.0)ドライバディスク」をセットし、【Enter】を押す

28 ファイルのコピー終了後、画面の指示にしたがいドライブよりフロッピーディスク、CD-ROMを取り出し、コンピュータを再起動する

以上でWindows NT 4.0のテキストセットアップは終了です。
次に「■ グラフィックセットアップ (P.117)へ進んでください。

■ グラフィックセットアップ

グラフィックセットアップでは、内蔵LANを組み込む手順を説明します。

- 1 再起動するとCD-ROMの挿入要求のメッセージが表示されるので、「Windows NT CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、「OK」ボタンをクリック
- 2 グラフィックセットアップでは次の設定を行う
これら設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0[®] Microsoft Windows NTファーストステップガイド』をご覧ください。

 **チェック!** WorkstationとServerでは、設定が異なります。

- ・ セットアップ方法の選択
- ・ 個人情報の入力
- ・ サーバーの種類の選択 (Serverのみ)
- ・ 管理者アカウントのパスワードの設定
- ・ システム修復ディスク作成の選択
- ・ インストールするファイルの選択

- 3 「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
LANアダプタを内蔵していないモデルや、ネットワークに接続しない場合は、「まだネットワークに参加しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックし、後は画面の指示にしたがってセットアップを行ってください。セットアップ終了後にネットワークを設定する場合は、後述の「セットアップ後のネットワークの設定について」(P.136)をご覧ください。

 **チェック!** NetPCモデルをお使いの場合は、必ずここでネットワークに参加してください。ここでネットワークに参加しなければ、後から参加することはできません。

- 4 Serverの場合はInternet Information Serverをインストールするかどうかを選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリック

6 「ネットワークアダプタの選択」の画面で「ディスク使用」ボタンをクリック

7 「フロッピーディスクの挿入」の画面が表示されるので、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、次のように入力して「OK」ボタンをクリック

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA50J/F、MA43H/Fの場合 >

A:¥E100B

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA45L/Rの場合 >

A:¥ACC07D

8 「OEMオプションの選択」の画面が表示されるので、リストからネットワークアダプタを選択し、「OK」ボタンをクリック

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA50J/F、MA43H/Fの場合 >

「Intel(R) PRO Adapter」

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合 >

「Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter」

< MA45L/Rの場合 >

「Accton EN1207D-TX Series PCI Fast Ethernet Adapter」

9 ネットワークアダプタの検索画面に、選択したネットワークアダプタが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック

10 次のネットワークアダプタのセットアップを行う

- ・ ネットワークプロトコルの選択
- ・ ネットワークサービスの選択
- ・ ネットワークの設定の確認
- ・ ネットワークに必要なファイルのコピー
- ・ ネットワークバインドの調整
- ・ ワークグループまたはドメインの参加



チェック!

- ・ ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから CD-ROMドライブ名 :¥386と入力して、「続行」ボタンをクリックしてください。
- ・ 「Adapter Propaties(557Set)」の画面が表示された場合は、ここでは設定を変更せず必ずOK ボタンをクリックしてください。設定の変更が必要な場合は、セットアップ終了後、「コントロールパネル」の「Intel PROSet」を起動して変更してください。

これで、グラフィックセットアップの手順で内蔵LANの組み込みが終了しました。後は画面の指示にしたがってセットアップを行ってください。

11 セットアップが完了したら、スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、必ず「スーパーディスクドライブ搭載モデルの設定」(P.102)で変更したBIOSの設定を元に戻す NetPCモデルをお使いの方は、必ず「NetPCモデルの設定」(P.103)で変更したBIOSの設定を元に戻す

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

次にNetPCモデルをお使いの方は「ネットワークドライブの設定」(NetPCモデルのみ)(P.120)へ、その他のモデルをお使いの方は「ドライブのコピー」(P.121)へ進んでください。

ネットワークドライブの設定(NetPCモデルのみ)

NetPCモデルの場合、Windows NTのセットアップ後に以降の「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」および「ドライバのアップデート」を行うため、本機をネットワークに接続し、任意のネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを共有にします。

 **チェック!** 次のいずれかのOSがインストールされたネットワークコンピュータを使用してください。

- Windows NT Workstation 3.51**または**Windows NT Server 3.51
- Windows NT Workstation 4.0**または**Windows NT Server 4.0

- 1** フロッピーディスクドライブとCD-ROMドライブを共有するコンピュータが起動していて、本機がネットワークでつながっていることを確認する
- 2** 本機の電源スイッチを入れてWindowsを起動する
- 3** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NTエクスプローラ」をクリック
- 4** 共有するネットワークコンピュータをクリック
- 5** 「ツール」メニュー→「ネットワークドライブの割り当て」をクリック
- 6** 共有するネットワークコンピュータのフロッピーディスクドライブを「A:」に割り当てる
- 7** 「OK」ボタンをクリック
- 8** 手順6、7と同じ作業でCD-ROMドライブも割り当てる

以上でネットワークドライブの設定は終了です。
次に「ドライバのコピー」に進んでください。

ドライバのコピー

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリック

2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

3 次のように入力する

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA45L/R、
MA43H/Fの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY.BAT【Enter】

< MA46H/Sの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY3.BAT【Enter】

< MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/Cの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY4.BAT【Enter】

< MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、
MA50J/Fの場合 >

Q:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

DRVCOPY2.BAT【Enter】

4 画面の指示にしたがってコピーする

5 コピーが終了したら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出す

以上で、ドライバのコピーは終了です。

次にUSB接続キーボードをお使いの場合は「USB接続のキーボードドライバのセットアップ」(P.122)へ、PS/2 109キーボードをお使いの場合は「ドライバのアップデート」(P.123)へ進んでください。

USB接続のキーボードドライバのセットアップ

ここではUSB接続のキーボードドライバのセットアップの手順について説明します。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「キーボード」をダブルクリック
- 3** 「全般」タブをクリック
- 4** 「変更」ボタンをクリック
- 5** 「ディスク使用」ボタンをクリック
- 6** 「フロッピーディスクからインストール」の画面で「C :
¥NT40¥USB」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 7** 「デバイスの選択」の画面で、USB 109キーボード、USB小型キーボードをお使いの場合は「USB109日本語キーボード(JIS配列)」を、USB 98配列キーボードをお使いの場合は「USB PC-9800配列キーボード」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 8** 「閉じる」ボタンをクリック
- 9** 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

以上でUSB接続のキーボードドライバのセットアップは終了しました。次に「ドライバのアップデート」へ進んでください。

ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順でWindows NT 4.0のドライバをアップデートします。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリック

2 アップデートを実行する
コマンドプロンプトから次のように入力します。

C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】

UPDATE【Enter】

3 「本機対応Windows NT 4.0アップデートへようこそ」と表示されたら、内容をよく読んで「OK」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。

4 「Windows NT 4.0アップデートが適用されました。」と表示されたら、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック

5 Windows NT 4.0 を再起動する

以上でドライバのアップデートは終了しました。

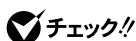
次に「サービスパック5のインストール」(P.124)へ進んでください。

サービスパック5のインストール

Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「サービスパック5 (以下サービスパック5)をインストールします。

1 サービスパック5の「README.TXT」を読む

2 サービスパック5のインストールを行う



チェック!

- ・ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。
- ・「Authenticode (tm) Security Technology」の画面が表示されたら、「Yes」ボタンをクリックしてセットアップを続行してください。
- ・本機で新しいコンポーネント(ドライバ等)を追加または変更した場合は、再度サービスパック5をインストールする必要があります。

例 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を使用してネットワークのインストールを行った場合

- ・本機に添付されていないアプリケーションやオプションボード等を追加される場合は、サービスパック5への対応状況をご確認の上でお使いください。

次に「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンドボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

■ MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「マルチメディア」をダブルクリック

3 「デバイス」タブをクリック

4 「追加」ボタンをクリック

- 5 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 6 ドライバのインストール画面になるので、Windows NTをインストールしたドライブのNT40¥YMF740(C:¥NT40¥YMF740)を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 7 ドライバの一覧から「YAMAHA DS-XG Audio Driver (Japanese)」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 8 「YAMAHA DS-XGオーディオドライバ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリック
- 9 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上で内蔵サウンドドライバのセットアップは終了しました。
次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.128)に進んでください。

■ MA46H/S、MA43H/Fの場合

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリック
C:¥NT40¥AD1881¥Setup.exe
- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「About SoundMAX Integrated Digital Audio」の画面で「OK」ボタンをクリック
- 5 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 6 再起動後「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

7 「名前」に「C:\NT40\MIDI\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック

8 「Welcome」の画面で「Next」ボタンをクリック

9 「Setup Complete」の画面で「Yes,I want to restart my computer now」を選択し、「Finish」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上でサウンドドライバのセットアップは終了です。

次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.128)に進んでください。

■ MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA50J/Fの場合

1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 「名前」に「C:\NT40\YMF752\SETUP.EXE」と入力して「OK」ボタンをクリック

3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック

4 「YAMAHA AC-XG Audio Driver」の画面で「OK」ボタンをクリック

5 「YAMAHA AC-XG Driver」の画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

6 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

7 「名前」に「C:\NT40\Y752\MIDI\DISK1\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック

8 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリック

9 「製品ライセンス契約」の画面で「はい」ボタンをクリック

10 「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます。

11 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリック

12 「Windowsの再起動」の画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上でサウンドドライバのセットアップは終了です。

次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」(P.128)へ進んでください。

■ MA45L/Rの場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「マルチメディア」をダブルクリック

3 「デバイス」タブをクリック

4 「追加」ボタンをクリック

5 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリック

6 「ドライバのインストール」の画面で「C:\¥NT40¥SOLO-1」を指定して、「OK」ボタンをクリック

7 ドライバの一覧に「ESS AudioDrive ES1938/1941/1946 Version 4.xx.xx」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリック

4.xx.xxはバージョン番号です。xxのところに表示される番号は機種によって異なる場合があります。

8 「ドライバは存在します」の画面が表示された場合は、「新しいドライバ」ボタンをクリック

- 9** 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

以上でサウンドドライバのセットアップは終了しました。
次に「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」に進んでください。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「画面」をダブルクリック
- 3** 「ディスプレイの設定」タブをクリック
- 4** 「ディスプレイの種類」ボタンをクリック
- 5** 「変更」ボタンをクリック
- 6** 「ディスク使用」ボタンをクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。
- 7** 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合 >
C:¥NT40¥SAVAGE4

< MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、
MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、
MA50J/F、MA43H/Fの場合 >
C:¥NT40¥I810GRPH

< MA45L/Rの場合 >
C:¥NT40¥SIS530

8 「ディスプレイ」のリストから次のものを選択し、「OK」ボタンをクリック

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/Sの場合 >
「S3 Inc. Savage4 Display Driver Version ****」

< MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、
MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、
MA50J/F、MA43H/Fの場合 >
「Intel Corporation 810 Graphics Controller Hub」

< MA45L/Rの場合 >
「SIS530」

**** はバージョン番号です。**** のところに表示される番号は機種によって異なる場合があります。

9 「サードパーティドライバをインストールしようとしています。...続行しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

10 ドライバ組み込み結果が表示されるので、「OK」ボタンをクリック

11 「閉じる」ボタンをクリック

12 「閉じる」ボタンをクリック

13 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック 自動的に再起動します。

以上で内蔵アクセラレータボード対応ドライバのセットアップは終了です。次にFAXモデムボード搭載モデルの場合は「内蔵FAXモデムボードのセットアップ」に進んでください。

スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」(P.133)へ、液晶ディスプレイをお使いの場合は「液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ」(P.134)へ進んでください。その他のモデルをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

内蔵FAXモデムボードのセットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/Lの場合

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「C:\NT40\RWMODEM\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 3 「モデムボードインストールウィザード」の画面で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「NEC Fax Modem 56K Data+Fax (DJP)」が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「モデムドライバのインストールが成功しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 6 本機を再起動する

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは終了です。

次にスーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」(P.133)へ、液晶ディスプレイをお使いの場合は「液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ」(P.134)へ進んでください。その他のモデルをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

■ MA45L/R、MA50J/F、MA43H/Fの場合

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「シリアルポート」をダブルクリック

2 「追加」ボタンをクリック

3 「新しいポートの詳細設定」の画面で各設定を選択する



チェック!

「COMポートの番号」はMA45L/Rの場合は「2」を、MA50J/F、MA43H/Fの場合は「5」を必ず選択してください。「I/Oポートアドレス」「割り込み番号(IRQ)」は他のデバイスと競合しない値を選択してください。

4 「OK」ボタンをクリック

5 「システム設定の変更」の画面で「再起動しない」ボタンをクリック

6 「閉じる」ボタンをクリック

7 「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリック

8 「新しいモデムのインストール」の画面で「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

9 「ディスク使用」をクリック

10 「フロッピーディスクからインストール」の画面で次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

< MA45L/R、MA50J/Fの場合 >

C:¥NT40¥LTMODEM

< MA43H/Fの場合 >

C:¥NT40¥MODEM

11 次のモデムを選択し、「次へ」ボタンをクリック

< MA45L/Rの場合 >

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ)」

< MA50J/Fの場合 >

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRBA)」

< MA43H/Fの場合 >

「NEC Fax Modem 56K Data+Fax(CRB)」

12 どのポートにインストールするかを聞いてくるので、「選択したポート」をチェックする

13 MA45L/Rの場合は「COM2」をMA50J/F、MA43H/Fの場合は「COM5」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

14 「所在地情報」を設定し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!** 「所在地情報」の画面は1回目のモデムのセットアップ時のみ表示されます。すでに他のモデムをセットアップしているときなどは、「所在地情報」の画面が表示されないことがあります。

15 以後は画面のメッセージにしたがって操作し、セットアップを終了する

16 Windows NT 4.0を再起動する

以上で内蔵FAXモデムボードのセットアップは終了です。

次にスーパーディスク搭載モデルをお使いの場合は、「スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ」(P.133)へ、フロッピーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方で、液晶ディスプレイをお使いの場合は「液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ」(P.134)へ進んでください。CRTディスプレイをお使いの場合は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

MA50J/F、MA43H/FでFAXモデムカードをご利用になる場合は「FAXモデムカードの利用について」(P.140)をご覧ください。

スーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップ

スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いで、1.2MB(512バイト/セクタ、1024バイト/セクタ)フォーマットのフロッピーディスクを使用する場合は、スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティ(SuperDisk フォーマットユーティリティ)をセットアップする必要があります。

720KB/1.44MBフォーマットのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)しか使用しない場合は、このセットアップは必要ありません。



1.2MB(1024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズの1.25MB(1024バイト/セクタ)のことで、専用フォーマットユーティリティでは、「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」と表示されます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 2 「ドライバ」タブをクリック
- 3 「追加」ボタンをクリック
- 4 「ドライバのインストール」の画面で「ディスク使用」ボタンをクリック
- 5 「フロッピーディスクからインストール」の画面で「配布ファイルのコピー元」に「C:¥NT40¥LS120DRV」を指定し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「SCSIアダプタ」の一覧に「Panasonic SuperDisk」があることを確認し、「OK」ボタンをクリック
- 7 「Windows NT セットアップ」の画面で「C:¥NT40¥LS120DRV」と指定し、「続行」ボタンをクリック
- 8 「今すぐコンピュータを再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

9 再起動後、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

10 「名前」に「C:\NT40\MKELS120\SETUP.EXE」と指定し、「OK」ボタンをクリック

11 後は、メッセージにしたがってセットアップを行う

以上でスーパーディスク3モードドライブ対応ドライバと専用フォーマットユーティリティのセットアップは終了です。

次に液晶ディスプレイをお使いの方は「液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ」へ、CRTディスプレイをお使いの方は、これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

液晶ディスプレイ調整ツールのセットアップ

液晶ディスプレイをお使いの場合は、「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「液晶ディスプレイ調整ツール」(P.77)をご覧ください、必要に応じてセットアップを行ってください。



チェック!

- ・セットアップを行う場合はAdministrator権限を持ったユーザが行ってください。
- ・液晶ディスプレイ調整ツールは「スタート」ボタン→「プログラム」→「液晶ディスプレイ調整ツール1」または「液晶ディスプレイ調整ツール2」をクリックして起動してください。

これでWindows NT 4.0のセットアップは終了です。

指紋認証ユニットのセットアップについて

Securityモデルをお使いの方は、『指紋認証ユニット(シリアル)ユーザーズマニュアル』をご覧ください。指紋認証ユニットのセットアップを行ってください。

本機でWindows NT 4.0を利用するときの注意

- ・ 本機に添付されているWindows NT 4.0のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・ Windows NT 4.0は、NEC製のキーボードおよび液晶ディスプレイ (F14T41W、F14T52、F15T42、F15S32、F15R42W、F18S1W) のハブを利用できます。
- ・ サスペンド中には、USB接続のキーボード/マウスの抜き差しを絶対に行わないでください。誤って行ってしまった場合、レジューム後はUSB接続のキーボード/マウスが使用できなくなります。このようなときは電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。この方法で強制的に電源を切った場合、保存していないデータは消えてしまいます。
- ・ サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、BIOSセットアップメニューを次のように設定してください。

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA50J/F、MA43H/Fの場合 >

「省電力」 : カスタマイズ
 「ハードディスクタイムアウト」 : 使用しない
 「システムスイッチ」 : パワーボタン
 「自動サスペンドタイムアウト」 : オフ

< MA46H/Sの場合 >

「Power Management Setup」メニューで次のように設定する

・ Power Management/APM : Enabled
 ・ Power Button Function : On/Off
 ・ Hard Disk Power Down Mode : Disabled
 ・ Suspend Time Out (Minute) : Disabled

- ・ MA45L/RでWindows NT 4.0を使用する場合、サスペンド/レジュームは使用できません。

- ・ LAN上のサーバーを一括管理するための機能を提供する「ESMPRO/ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」があります。本機にて「ESMPRO/ServerAgent Ver3.1(Windows NT版)」をお使いいただくには、本機に対応するためのモジュールが必要になります。本機に対応するモジュールは、次のインターネット情報サービスからダウンロードしてください。

PICROBO

<http://www.nec.co.jp/picrobo>

- ・ すでにネットワークがインストールされている状態でプロトコルやネットワークサービスを追加しようとする、「Windows NT CD-ROM」を要求される場合があります。この場合は、CD-ROMドライブに「Windows NT CD-ROM」をセットして、CD-ROMドライブのアクセスランプが消えてから「続行」ボタンをクリックしてください。

セットアップ後のネットワークの設定について

セットアップ終了後にネットワークをインストールする場合は、次の手順で行ってください

- 1 「スタート ボタン」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「Windows NT ネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 4 「ネットワークセットアップウィザード」画面で「ネットワークに接続」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 5 「Windows NT 4.0のセットアップ」の「■ グラフィックセットアップ (P.117) の手順5～10を行う
- 6 インストール終了後、再起動しないですぐにサービスパック5をインストールする

参照 サービスパック5のインストール→「サービスパック5のインストール」(P.124)

以上でネットワークのインストールは終了です。

別売の100 BASE-TXインターフェースボード使用時の注意

別売の100 BASE-TXインターフェースボードPK-UG-X006またはPK-UG-X006E(以後、PK-UG-X006ボード)を使用される場合、PK-UG-X006ボードのマニュアルには、本体内蔵ドライバをいったん削除した後、PK-UG-X006ボード添付のドライバディスクを使用するように指示されていますが、本機にPK-UG-X006ボードを追加する場合は、セットアップ済みの内蔵用LANドライバを削除せず、次の手順でドライバをインストールしてください。

< MA60J/M、MA50J/M、MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/Cの場合 >

PK-UG-X006ボードに添付のドライバディスクの代わりに「Windows NT 4.0アップデートディスク1」を使用します。

「フロッピーディスクの挿入」の画面では「A:¥E100B」を入力し、「OEMオプションの選択」画面では「Intel(R)PRO Adapter」を選択します。その他はPK-UG-X006ボードに添付のマニュアル通りにインストールします。

< MA46H/S、MA46H/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA45L/Rの場合 >

アップデートモジュールを次のインターネット情報サービスからダウンロードし、インストールしてください。

PICROBO

<http://www.nec.co.jp/picrobo/>

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティについて

専用フォーマットユーティリティの起動方法

1 フォーマットを行うディスクをセットする

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「SuperDisk用フォーマットユーティリティ」をクリック



チェック!!

- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティは、起動時に挿入されている媒体を判別してフォーマット可能な容量を表示します。このためフォーマットを行う媒体は、ユーティリティ起動前にスーパーディスクに挿入してください。
- ・ユーティリティ起動後に媒体を入れ替えた場合は、ユーティリティをいったん終了して再起動してください。

注意事項

- ・スーパーディスク3モード対応ドライバおよび専用フォーマットユーティリティをセットアップした場合には、720KB/1.2MB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットはすべて専用フォーマットユーティリティで行ってください。Windows NTエクスプローラや、コマンドプロンプトからのformatコマンドでのフォーマットはできません。

スーパーディスク3モード対応ドライバをセットアップしていない場合には、720KB/1.44MBのフロッピーディスクおよびスーパーディスク(120MB)のフォーマットは、Windows NTのコマンドプロンプトからのformatコマンドで行うことができます。

- ・スーパーディスクフォーマットユーティリティで1.2MBへのフォーマットを行う場合、以下の項目を選択してください。

「3.5インチ、1.2MB、1024バイト/セクタ(NEC)」

「3.5インチ、1.2MB、512バイト/セクタ(TOSHIBA)」

- ・一度もフォーマットされていない媒体や、フォーマットが破壊されていて正常にアクセスできない媒体を、スーパーディスクフォーマットユーティリティでフォーマットした場合、イベントビューアにエラーが記録されることがありますが、この媒体の使用には問題ありません。
- ・スーパーディスク3モード対応ドライバがインストールされている場合、1.2MBのフロッピーディスクに対してコマンドプロンプトからchkdskコマンドは実行できません。誤って実行した場合、アクセスエラーの表示となることがありますが、これはフォーマットされていないことを示すものではありません。

容量等を調べる場合は、別のツール(エクスプローラなど)で参照してください。

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティの削除

スーパーディスク3モード対応ドライバと専用フォーマットユーティリティは、以下の手順で削除することができます。

- 1 Administrator権限のあるユーザでWindows NT 4.0にログオンする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「SCSIアダプタ」をダブルクリック
- 4 「ドライバ」タブをクリック
- 5 「Panasonic SuperDisk」をクリック
- 6 「削除」ボタンをクリック
- 7 「はい」ボタンをクリック
- 8 「OK」ボタンをクリック
- 9 「コントロールパネル」の中にある「デバイス」をダブルクリック
- 10 デバイスの一覧の中から「mkefpd」をクリック
- 11 「スタートアップ」ボタンをクリック
- 12 スタートアップの種類で「システム」が選択されているので、「無効」をクリック
- 13 「OK」ボタンをクリック
- 14 「mkefpd」デバイスのスタートアップの種類を変更すると、システムは使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいですか? というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

15 「閉じる」ボタンをクリック

16 「スタート」ボタン→「プログラム」→「SuperDisk フォーマットユーティリティ」→「Uninstall」をクリック

17 画面の指示にしたがって削除する

18 本機を再起動する

以上で削除は終了しました。

FAXモデムカードの利用について

MA50J/F、MA43H/FでFAXモデムカードを利用する場合は、次のような設定が必要な場合があります。

FAXモデムカードの認識確認

次の手順でFAXモデムカードがWindows NTで正しく認識されていることを確認してください。

1 PCカードスロットにFAXモデムカードを入れる

2 本機を起動する

3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

4 「PC カード(PCMCIA)」をダブルクリック

5 「ソケットの状態」タブをクリック

6 目的のFAXモデムカードを選択する



チェック!

目的のFAXモデムカードの名前が見つからない場合は、PCカードが正しく挿入されていない可能性があります。シャットダウン後、本機の電源を切って、FAXモデムカードを差し込み直してください。

7 「プロパティ」ボタンをクリック

8 「カード情報」タブをクリック

FAXモデムカードがWindowsNTで正しく認識されている場合には、「デバイスマップ」の画面が表示され、使用するFAXモデムカードのCOM番号が表示されます。このCOM番号はモデムのセットアップやリソース(IRQ)の変更時に使用しますので、控えておいてください。



チェック!! 「利用不可」と表示された場合は、FAXモデムカードのリソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ)の変更」(P.143)をご覧ください、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してください。

モデムのセットアップ

FAXモデムカードをダイヤルアップネットワークなどで使用する場合には、モデムのセットアップが必要です。次の手順で行ってください。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「モデム」をダブルクリック

初めてモデムをセットアップする場合は、自動的に「新しいモデムのインストール」の画面が表示されます。既にモデムがセットアップされている場合は、「モデムのプロパティ」が表示されます。「追加」ボタンをクリックすると「新しいモデムのインストール」の画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリック



チェック!!

- ・モデムが検出されなかった場合、FAXモデムカードに割り当てられているリソース(IRQ)が妥当でない可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ)の変更」をご覧ください、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更してからモデムのセットアップをしてください。
- ・使用するFAXモデムカードにWindows NT用の.infファイルが添付されている場合は、次の手順で.infファイルをインストールしてください。

infファイルの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする

「変更」ボタンをクリック

「ディスク使用」ボタンをクリック

コピー元にフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力し、「OK」ボタンをクリック

使用するFAXモデムカードの名称をクリックし、「OK」ボタンをクリック

使用するFAXモデムカードのCOM番号上のモデム名が変更されたことを確認し、「次へ」ボタンをクリック

「所在地情報」画面が表示された場合、所在地情報を入力し、「次へ」ボタンをクリック

「完了」ボタンをクリック



Windows NT用の.infファイルがない場合には、Windows 98用の.infファイルで代用することもあります。ただし、Windows 98用の.infファイルすべてがWindows NTで正しく動作するわけではありません。

上記 の手順の後 に進むか、またはFAXモデムカードの通信速度にあった「標準のモデムドライバ」に変更してください。

モデムのセットアップの確認

次の手順でモデムが正しくセットアップされているかを確認します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の「ハイパーターミナル」をクリック
「新しい接続」ウィザードが表示されます。
- 2 「キャンセル」ボタンをクリック
- 3 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック
- 4 「接続方法」リストから使用するモデム名をクリック
- 5 「モデムの設定」ボタンをクリック「ポート」に正しいCOM番号が表示されているか確認し、「OK」ボタンをクリック
- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7 ハイパーターミナルのウィンドウ内に「AT」と入力する

8 【Enter】を押す

モデムのセットアップが正しく行われている場合には、「OK」のメッセージが表示されます。ハイパーターミナルの画面に「AT」と表示されず、「OK」のメッセージも表示されない場合は、Windows NTでFAXモデムカードが認識されていないか、モデムのセットアップが正常に終了していない可能性があります。「モデムのセットアップ」(P.141)をご覧ください、FAXモデムカードが正しくセットアップされているか確認してください。

FAXモデムカードのリソース(IRQ)の変更

FAXモデムカードがWindows NTで正しく認識されなかったり、正しく動作しない場合は、リソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性があります。この場合は、次の手順でリソース(IRQ)を変更してください。



チェック!!

次の手順ではFAXモデムカードレジストリ設定ツールを使用してレジストリを操作するため、使用方法を誤ると重大な障害が発生する可能性があります。使用に際しては、十分注意してください。またレジストリのバックアップをとっておくことをおすすめします。

1 本機で利用可能なリソース(IRQ)を、『活用ガイド ハードウェア編』で確認する

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール」→「Windows NT診断プログラム」をクリック

3 「リソース」タブをクリック

現在のリソース(IRQ)の設定状況が表示されるので、空いているリソース(IRQ)を確認してください。Windows NTでは、FAXモデムカードは本機内蔵のシリアルポートと同じ「Serial」というデバイス名で表示されます。IRQ4の「Serial」は本機内蔵のシリアルポート、IRQ4以外の「Serial」がFAXモデムカードを表しています。

4 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

5 「シリアルポート」をダブルクリック

✓**チェック!** 「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」で、デバイスマップが「利用不可」と表示されている場合は、ここでポートを追加する必要があります。次の手順でCOMポートを追加してください。

「追加」ボタンをクリック

「OK」ボタンをクリック

再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリック

6 「FAXモデムカードの利用について」で確認したポート、または手順5の注意で追加したポートをクリック

7 「設定」ボタンをクリック

8 「詳細」ボタンをクリック

9 「I/Oポートアドレス」リストで「既定値」をクリック

10 「割り込み番号(IRQ)」リストから、現在空いているリソース(IRQ)をクリック

11 「OK」ボタンをクリック

12 再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリック

13 「閉じる」ボタンをクリック

14 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

15 「名前」の部分に「C:\NT40\DRIVERS\REG」と入力し、「OK」ボタンをクリック
FAXモデムカードレジストリ設定ツールが起動し、「Serial *」と表示されます。

16 「Serial *」の*の部分でFAXモデムカードのCOM番号から「1」を引いた値になるように設定する

例 COM 1の場合 → 「Serial 0」

COM 2の場合 → 「Serial 1」

手順5の注意の手順でCOMポートを追加した場合には、追加した順番にSerial10000、Serial10001となります。

17 「OK」ボタンをクリック レジストリが書き換えられ、FAXモデムカードレジストリ設定ツールが終了します。

18 本機を再起動する

以上でリソース(IRQ)の変更は終了です。



Windows 2000を利用する

MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/C、MA50T/Aをお使いの方で別売のWindows 2000 ServerやWindows 2000 Professionalを利用する場合のセットアップ手順およびアップデート手順について説明します。

Windows 2000をセットアップする前に

ここでは、セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

セットアップを始める前に必ずお読みください。

Windows 2000のセットアップには、約90分～150分程度の時間がかかります。

準備するもの

セットアップを行うには、次のものがが必要です。

- ・ アプリケーションCD-ROM(本機添付)

また、次のものを用意してください。

- ・ Windows 2000 Serverの場合
「Windows 2000 Server CD-ROM Disc1, Disc2」(別売)
(以下「Windows 2000 CD-ROM」)
- ・ Windows 2000 Professionalの場合
「Windows 2000 Professional CD-ROM Disc1, Disc2」(別売)
(以下「Windows 2000 CD-ROM」)
- ・ 新しいフロッピーディスク1枚(1.44Mバイトでフォーマットしたもの)
フロッピーディスクには「Windows 2000修復ディスク」のラベルを貼っておいてください。

セットアップに関する注意

- ・「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」には、このマニュアルに掲載されていない最新情報が記載されている場合があります。セットアップを行う前に必ずご覧ください。
- ・「アプリケーションCD-ROM」の¥WIN2KフォルダにWindows 2000の補足事項を記述したREADME.TXTがあります。セットアップを行う前にお読みください。
- ・本機を購入時の構成に戻してください。本機を購入後、お客様が接続した周辺機器は、セットアップ前に一度取り外し、セットアップ後にもう一度、接続と設定を行ってください。周辺機器の設定についてはWindows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professional ファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・Securityモデルをお使いの方は、指紋認証ユニットを取り外してからセットアップを行ってください。セットアップが終了したら『指紋認証ユニット(シリアル)ユーザズマニュアル』をご覧ください。再度接続とセットアップを行ってください。
- ・セットアップを行う前に、大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって本文中の画面と一部異なる場合があります。
- ・セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からやり直してください。
- ・セットアップ中は電源スイッチを押さないでください。
- ・Windows 2000をご利用になる場合には、2000年問題対応が必要になります。
NECのインターネットホームページ「98Information」で、コンピュータの2000年問題対応について、情報を提供しています。

<http://www.nec.co.jp/98/>

Microsoft デジタル署名について

ドライバを追加する際に、「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示される場合がありますが、「はい」をクリックしてセットアップを続行してください。

Windows 2000をセットアップする前の確認事項

BIOSの設定を変更している場合は、必ず工場出荷時の設定に戻してください。また、パスワードを解除してください。

 **チェック!** 工場出荷時のBIOS設定では、起動するデバイスの順番がATAPI CD-ROMの方がハードディスクよりも優先されます。ご使用になるCD-ROMによっては、自動的に起動するため、セットアップ中にシステムの再起動を行うときは、本機からCD-ROMを取り出して再起動するか、または起動するデバイスの優先順位を変更してください。

 **参照** BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻すには、『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」の「BIOSセットアップメニューについて」「工場出荷時の設定値に戻す」

 **参照** パスワードを解除するには、『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定「セキュリティの設定」

Windows 2000のセットアップ

手順

本機でWindows 2000をセットアップするには、次の手順で行います。

- Windows 2000のセットアップ
- Windows 2000環境設定プログラムのセットアップ
- ドライバーのコピー
- 内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- 内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- 内蔵LANボード対応ドライバのセットアップ
- 内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ
- モニタドライバのセットアップ
- 3モードFDドライバのセットアップ

 **チェック!** セットアップは必ずAdministrator権限を持つユーザで行ってください。

ここでは、次のようなドライブ構成になっている場合を例に説明します。
実際と異なる場合は、読み替えてください。

Cドライブ：Windows 2000をセットアップするドライブ

Aドライブ：フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブ

Dドライブ：CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブ

Windows 2000のセットアップ

本機にWindows 2000を新規に組み込む場合について説明します。ここで詳しく解説されていない手順については、Windows 2000日本語版に添付されている『Microsoft Windows 2000クイックスタートガイド』をご覧ください。

- 1 本機の電源を入れ、すぐにCD-ROMドライブに「Windows 2000 CD-ROM Disc1」をセットする
- 2 「Press any key to boot from CD」と表示されたら【Enter】を押す
- 3 「セットアップ:」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
- 4 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す
- 5 ライセンス契約画面が表示されたら、内容を確認して【F8】を押す
「PageDown」を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同意しない場合は、セットアップできません。
- 6 キーボードの種類を聞いてくるので、「106 日本語キーボード」を選択する
- 7 「106 Japanese Keyboard(Including USB)よろしいですか？(Y/N)」の画面が表示されたら、【Y】を押す
- 8 Windows 2000をインストールするパーティション、ファイルシステム、ディレクトリの設定を行う
- 9 ファイルのコピー終了後、コンピュータを再起動する

10 再起動後、「セットアップウィザードの開始」の画面で、「次へ」ボタンをクリック
数秒後に自動的に次の画面に進みます。

11 次の設定を行う

 **チェック!!** ServerとProfessionalでは、設定が異なります。

- ・ 地域
- ・ ソフトウェアの個人用設定
- ・ プロダクト キー
- ・ ライセンスモード (Serverのみ)
- ・ コンピュータ名とAdministratorのパスワード
- ・ Windows 2000コンポーネント (Serverのみ)
- ・ 日付と時刻の設定

12 画面の指示に従ってネットワークの設定を行う

「ワークグループまたはドメイン」の画面が表示されたら、「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」を選び、「ワークグループまたはドメイン名」にワークグループ名を記入して「次へ」ボタンをクリックしてください。

 **チェック!!** ここで「このコンピュータを次のドメインのメンバにする」を選んだ場合は、「指定したドメイン名は無効です。ドメインへの参加を後にして続行しますか?」と表示される場合がありますので、この場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

13 ファイルのコピーが終了すると「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出し、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

14 再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
「ネットワークへの接続」の画面が表示された場合は「キャンセル」ボタンをクリックして「Windows 2000環境設定プログラムのセットアップ」(P.151)へ進んでください。

15 コンピュータにログオンするユーザーを指定し、「次へ」ボタンをクリック

16 「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、 「完了」ボタンをクリック

以上でWindows 2000のセットアップは終了です。

このあとドメインへ参加する場合は、Windows 2000ヘルプを参照してください。

次に「Windows 2000環境設定プログラムのセットアップ」へ進んでください。

Windows 2000環境設定プログラムのセットアップ

本機でWindows 2000をご利用になる場合、次の手順で「Windows 2000環境設定プログラム」のセットアップを行ってください。

「Windows 2000環境設定プログラム」(SETENVN.EXE)では、Windows 2000上での環境設定を行います。

- 1 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリック
- 3 次のように入力する
D:【Enter】
CD ¥WIN2K¥SETENVN【Enter】
SETENVN.EXE【Enter】
- 4 プログラム開始のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 プログラム終了後、終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6 CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、本機を再起動する



チェック!

USBキーボードをお使いの方で、PS/2接続デバイスをお使いになる場合は、「アプリケーションCD-ROM」の「¥WIN2K」フォルダの「README.TXT」をご覧ください。PS/2接続デバイスを使用する場合の注意事項が記載されています。

以上で、Windows 2000環境設定プログラムのセットアップは終了です。次に「ドライバのコピー」へ進んでください。

ドライバのコピー

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリック
- 2 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 3 次のように入力する
D:【Enter】
CD ¥WIN2K【Enter】
DRVCOPY2.BAT【Enter】
- 4 画面の指示にしたがってコピーする
- 5 コピーが終了したら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出す

以上でドライバのコピーは終了です。

次に、「内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 4 「ディスプレイアダプタ」をダブルクリック
- 5 次のものをダブルクリック

「Intel Corporation 810e Graphics Controller Hub」または
「Intel Corporation 810 Graphics Controller Hub」

- 6 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック
- 7 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「場所を指定」のみにチェックをつけて、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「C: ¥WIN2K ¥I810」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 11 「別のドライバを1つインストールする」にチェックをつけて、「次へ」ボタンをクリック
- 12 次のものを選択し、「次へ」ボタンをクリック
「Intel Corporation 810e Graphics Controller Hub」または
「Intel Corporation 810 Graphics Controller Hub」
- 13 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
- 14 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 15 「閉じる」ボタンをクリック
- 16 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは終了です。次に「内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 4 「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」をダブルクリック
- 5 「AC 97 Driver for Intel® 82801 AB Controller」をダブルクリック
- 6 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック



チェック!! 「AC'97 Driver for intel® 82801 AB Controller」が存在しない場合、「その他のデバイス」にある、「マルチメディアオーディオコントローラ」をダブルクリックして、「マルチメディア ドライバの再インストール」ボタンをクリックしてください。

- 7 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「ハードウェアの種類」を選択する画面が表示される場合は、「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「ディスク使用」ボタンをクリック
- 11 「C:\WIN2K\¥YMF752」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 12 ドライバ一覧から「YAMAHA AC-XG Audio Device」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 13 「ドライバの更新警告」の画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
- 14 「デバイスドライバのインストールの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 15 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
- 16 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 17 「閉じる」ボタンをクリック
- 18 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
- 19 本機を再起動する

以上で内蔵サウンド対応ドライバのセットアップは終了です。

次に「内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ」へ進んでください。

内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップ

本体内蔵FAXモデムボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 4 「その他のデバイス」の「PCIシンプル通信コントローラ」をダブルクリック
- 5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック

- 6 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「場所を指定」のみをチェックし、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「C:¥WIN2K¥RWMODEM」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 10 「ハードウェアデバイスのドライバファイル検索が終了しました。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
- 12 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 13 「閉じる」ボタンをクリック
- 14 本機を再起動する

以上で内蔵FAXモデムボード対応ドライバのセットアップは終了です。
次に「モニタドライバのセットアップ」へ進んでください。

モニタドライバのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」をダブルクリック
- 3 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリック
- 4 「モニタ」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック



チェック!

お使いのモニタ名称(NEC DV17D2等)が表示されている場合は、次の手順は不要ですので、「キャンセル」ボタンを2回クリックして「モニタドライバのセットアップ」を終了し、「3モードFDドライバのセットアップ」(P.158)へ進んでください。

- 5 「ドライバ」タブをクリック
- 6 「ドライバの更新」ボタンをクリック
- 7 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」をチェックし、「ディスク使用」ボタンをクリック
- 10 「フロッピーディスクからインストール」の画面で、「C:¥WIN2K¥MONITOR」と指定して「OK」ボタンをクリック
- 11 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」の画面で、お使いのモニタを選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 12 「次へ」ボタンをクリック
- 13 「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック
- 14 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 15 「閉じる」ボタンをクリック
- 16 「OK」ボタンをクリック
- 17 「OK」ボタンをクリック
- 18 本機を再起動する

以上で、モニタドライバのセットアップは終了です。
次に「3モードFDドライバのセットアップ」へ進んでください。

3モードFDドライバのセットアップ

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「システム」をダブルクリック
- 3** 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 4** 「フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリック
- 5** 「標準フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリック
- 6** 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック
- 7** 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8** 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9** 「場所を指定」のみをチェックし、「次へ」ボタンをクリック
- 10** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、「D:¥WIN2K¥3MODE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 11** 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、「別のドライバを1つインストールする」にチェックをつけて「次へ」ボタンをクリック
- 12** リストの一覧から「NEC PC98-NX 3-mode floppy controller (Type I)」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 13** 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

- 14 「閉じる」ボタンをクリック
- 15 本機を再起動する
- 16 再起動後、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 17 「システム」をダブルクリック
- 18 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 19 「フロッピーディスクドライブ」をダブルクリック
- 20 「フロッピーディスクドライブ」をダブルクリック
- 21 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック
- 22 「デバイス ドライバのアップグレードウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 23 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 24 「場所を指定」のみにチェックをつけ、「次へ」ボタンをクリック
- 25 「D:¥WIN2K¥3MODE」と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 26 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されたら、「別のドライバを1つインストールする」をチェックして「次へ」ボタンをクリック
- 27 「検出されたドライバファイル」のリストの中から、「NEC PC98-NX 3-mode floppy disk drive」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

28 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

29 「閉じる」ボタンをクリック

30 再起動を促すメッセージが表示されたら、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、「はい」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

以上でWindows 2000のセットアップは終了です。

Securityモデルをお使いの方は『指紋認証ユニット(シリアル)ユーザズマニュアル』をご覧ください。指紋認証ユニットの接続とセットアップを行ってください。

本機でWindows 2000を利用するときの注意

本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。

- ・ USBキーボードをご使用の場合、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「システム情報」→「コンポーネント」→「問題のあるデバイス」に「PC/ATエンハンスPS/2キーボード」「Microsoft PS/2 Mouse」が表示される場合がありますが、問題ありません。
- ・ デジタル液晶パネルの使用について、プラグアンドプレイモニタとして自動検出できない場合があります。その場合は、以下の手順でシステムの変更を行ってください。
 - 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
 - 「画面」をダブルクリック
 - 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリック
 - 「モニタ」タブをクリック
 - 「モニタの種類」が「既定のモニタ」になっていることを確認する



チェック!! 「既定のモニタ」以外の設定になっている場合は以下の手順を行わずにそのままご利用ください。

「プロパティ」ボタンをクリック

「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリック

「次へ」ボタンをクリック

「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

「このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示」を選択する

「製造元」、「モデル」からご使用のモニタを選択する



チェック!

ご使用のモニタがリストにない場合は、「製造元」から「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」からご使用のモニタの仕様に合ったモデル(「Digital Flat Pane(****x****)」)を選択します。

「次へ」ボタンをクリック

警告メッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

「次へ」ボタンをクリック

「完了」ボタンをクリック

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、何かトラブルが起きたときは、ここを読んでください。

この章の読み方

次ページの「トラブルが起きたとき」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

この章の内容

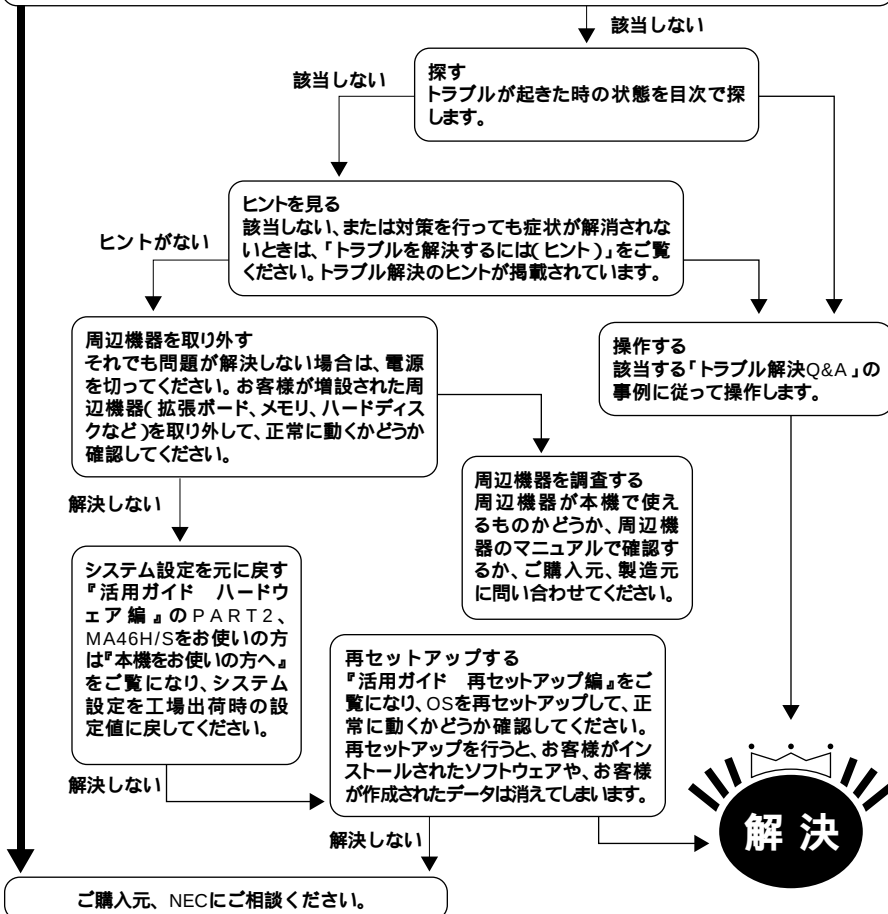
トラブルが起きたとき	164	FAXモデムを使おうとしたら	188
トラブルを解決するには(ヒント)	165	印刷しようとしたら	188
お問い合わせの前に		フロッピーディスクなどを使っていたら	190
(トラブルチェックシート)	168	ハードディスクを使っていたら	191
電源を入れたが	170	CD-ROMを使っていたら	194
電源を切ろうとしたが	176	周辺機器を取り付けようとしたら	197
スタンバイ機能を使おうとしたら	177	アプリケーションを使っていたら	199
パソコンがこわれそう	178	タイマ機能を使おうとしたら	204
画面がおかしい	180	その他	205
音がおかしい	183	コンピュータウイルス対策について	208
マウスを動かしても	184	トラブルを予防するには	210
文字を入力しようとしたら	185	アフターケアについて	212
ファイルを保存しようとしたら	186		
LAN(ローカルエリアネットワーク)に			
接続しようとしたら	187		

トラブルが起きたとき

このマニュアルには多くのトラブル解消法が掲載されています。トラブルが起きたら、まずこのマニュアルを手がかりに次の手順で解決法を見つけてください。

トラブルが起きたら、このマニュアルをご覧ください

煙や異臭、異常音がでた場合、すぐに電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。それ以外のトラブルの場合は下へ進んでください。



トラブルを解決するには(ヒント)

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせで使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

- 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。

パソコンが反応していない(フリーズした)ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。

その場合は処理が終わるまでしばらく待ってください。

用語 フリーズ(ハングアップ)

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなること。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起こることがあります。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。ハングアップともいいます。

- メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の糸口になることがあるので、紙に書き留めてください。

- 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、もっと他のものなのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、原因がわかると対処しやすくなります。

周辺機器に原因があるときは、1つずつ取り外して、トラブルが起きた操作をやり直すと、どれに関連したトラブルなのかわかります。

- Safeモードで起動する

うまく起動しない場合には、Safeモードで本機を起動して、状態を調べたり、設定を変更したりします。

『活用ガイド 再セットアップ編』PART1 再セットアップする」の「再セットアップが必要になるとき」をご覧ください。

- システム情報を利用する

システム情報は、本機の構成情報や関連情報等を収集し、表示します。
トラブルを解決する際に、システム情報を使うと、システムの問題を解決するために必要なデータをすばやく探すことができます。

システムファイルチェッカー

.....Windows 98のファイルの整合性を確認したり、これらのファイルが破損している場合に復元したり、インストールディスクからドライバなどの圧縮ファイルを抽出したりすることができます。

スキャンディスク

.....ハードディスクの軽い障害であれば、スキャンディスクを使って修復することができます。

起動方法は次の通りです。

- システム情報の起動方法
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック
- システムファイルチェッカーの起動方法
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック
「ツール」メニューの「システムファイルチェッカー」をクリック
- スキャンディスクの起動方法
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリック
「ツール」メニューの「スキャンディスク」をクリック
- Windows 98のヘルプを使う
「スタート」ボタン→「ヘルプ」をクリックして、Windowsのヘルプをご覧ください。
- 「トラブル解決 Q&A」の中から、あてはまるトラブルを探す
あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページをお読みください。

- 他のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る
あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。
また、アプリケーションには、READMEファイルが付いていることが多く、そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、お読みください。
本機には、「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」に本製品のご利用にあたっての補足説明があります。
またC:\WINDOWSには「GENERAL.TXT」(「Windows 98 README:一般情報」)があります。
 - NECのホームページ「98Information」を見る
アドレスは、<http://www.nec.co.jp/98/> です。
 - システム設定を元に戻す
『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 システム設定」MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』をご覧ください、システム設定を工場出荷時の設定値に戻してください。
 - トラブルチェックシートに記入して問い合わせる
NECの問い合わせ先は『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。
なお、お問い合わせの際には、どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」(P.168)に記入してください。また、必ず保証書を準備してください。型番や保守に重要な情報が記載されています。
本機と別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。
本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先からのほうが適切な回答を得られます。
- <本機に添付されているアプリケーションの問い合わせ先>
- 本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧』の「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」にしたがい、各社へお問い合わせください。
 - その他のアプリケーションについては、本機添付の『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの構成やトラブルの具体的な状況をお知らせいただく必要があります。あらかじめ、このシートの各項目にご記入いただくと、お問い合わせの際により的確で迅速な対応を受ける助けになります。ぜひ、ご利用ください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成

■ ハードウェア

本体

型番 (保証書に記載されています)

製造番号 (保証書番号)

メモリの容量 _____ MB(メガバイト)

ハードディスクの容量 _____ GB(ギガバイト)

ハードディスクの空き領域 _____ MB(メガバイト)

ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータのハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。

周辺機器

品名・型名 (メーカー名)

ディスプレイ

プリンタ

増設ハードディスク

ネットワークボード

その他の周辺機器

■ ソフトウェア

OSのバージョンと発売メーカー

☐ Windows 98 ☐ Windows NT (バージョン _____)

☐ Windows 95

トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動する
たびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

●その他に気付いたことがあれば書いてください。



電源を入れたが...

電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



電源が入らない / ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイの電源ランプは点灯していますか？

本体の電源ランプは点灯していますか？

ディスプレイのRGBケーブルが本体に正しく接続されていますか？

ディスプレイの輝度(明るさ)コントラストが小さくなっていますか？

ディスプレイのマニュアルまたは、『はじめにお読みください』をご覧ください。

それでも問題が解決しない場合は、ディスプレイまたは本体の故障が考えられますので、購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス & サポートのご案内』『NEC PCあんしんサポート』



キーボードエラーが表示される

キーボードと本体の接続を確認する

液晶ディスプレイにキーボードを接続している場合は、キーボードと液晶ディスプレイの接続、液晶ディスプレイと本体を接続しているUSBケーブルの接続を確認してください。

参照

接続の確認→『はじめにお読みください』

電源の投入順序を確認する

参照

電源の投入順序→『はじめにお読みください』『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部『電源』



電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる
次の操作をしてみてください。

マウスを動かすか、キーボードのキーの何が【Shift】などを押す

画面に何も表示されない場合は、電源スイッチを押す

電源を入れてしばらくすると画面が真っ暗になる場合、次の原因が考えられます。

- ・ Timer-NXによるスタンバイ状態または本体の電源が切れた
Timer-NXのタイマプログラムやオフタイマ機能を利用すると時間を指定して、スタンバイ状態にしたり本体の電源を切ることができます。
上記の手順 でスタンバイ状態から復帰、または本体の電源が入ります。

参照 Timer-NX → 「PART 1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Timer-NX」

- ・ ディスプレイの省電力機能が働いた
ディスプレイセットモデルに添付されているディスプレイは省電力機能に対応しているので、「コントロールパネル」→「電源の管理」→「電源設定」で省電力の設定をすると、設定した時間になると、ディスプレイを省電力モードにしたり、ディスプレイの電源を切ったりすることができます。(工場出荷時の状態では15分に設定されています)上記の手順 で表示されるようになります。



Windows 98が起動しない

ハードディスクのファイルにデータエラーがないか、スキャンディスクでチェックしてください。

参照 Windows 98が起動できなかった場合 → 『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」

システムの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でシステムの設定を工場出荷時の状態に戻して再起動してください。

別売の拡張ボードを取り付けている場合は、そのボードを取り外す

参照 ボードの取り外し方 → 『ハードウェア拡張ガイド』MA50J/F、MA43H/Fをお使いの方は、『活用ガイド ハードウェア編』

システムの設定を工場出荷時の状態に戻す

参照 工場出荷時の状態に戻す→『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定、MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』1.システム設定



- ・ BIOSセットアップメニューで設定したパスワードは初期値には戻りません。
- ・ どうしてもWindows 98が起動しないなど、再セットアップする必要がある場合は、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。



「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「3. Safe mode」を選択するような画面が表示された

「3. Safe mode」を選択するような画面（「Enter a choice:」のところに「3」が表示されている状態）が表示された場合は、以下の手順でSafe modeを起動させてください。

「3.Safe mode」になっていることを確認して【Enter】を押す

「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【全角/半角/漢字】を押す

「WindowsはSafeモードで実行されています」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック

Safeモードが起動します。

画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menuは起動時にネットワークやハードウェアの設定に問題があり、正常に起動できなかったときに表示されます。このような場合は、無理に「1. Normal」を選択しないでSafe モードで一度起動してください。コントロールパネルで設定を確認してから「スタート」→「Windowsの終了」で「再起動する」を選択し、「OK」ボタンをクリックして再起動すると、問題がなければ元の状態に戻ります。Safe modeで起動して、その後、再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップが必要になりますので、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。



「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まった

ハードディスクに異常がないかチェックが行われ、ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示にしたがってください。再セットアップの必要があるときは、再セットアップしてください。



前回、電源を切ったときに、正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態のときにACコンセントが抜けたり停電すると、このメッセージが表示されます。

スキャンディスクプログラムを実行してシステムファイルに異常が見つかったときや、スキャンディスクプログラムで異常は見つからないがうまく起動できない、あるいは動作が不安定なときは、再セットアップが必要です。

定期的にスキャンディスクプログラムを実行してディスクに異常がないかどうか確認してください。

参照

再セットアップ→『活用ガイド 再セットアップ編』

スキャンディスク→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「ハードディスクドライブ」



「Invalid system disk Replace the disk....」と表示される

フロッピーディスクなどがセットされている場合

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか、フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直して、再起動してください。

フロッピーディスクなどがセットされていない場合

Windows 98起動ディスクから本機を起動してハードディスクにスキャンディスクを実行して、ハードディスクを調べてください。

問題が発見された場合は画面の指示にしたがってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。再セットアップしてください。

また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていない場合も、再セットアップしてください。

参照

起動ディスク→「トラブルを予防するには...」(P.210)

電源を入れたが...



Windows 98でフォーマットしただけでシステムの入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。



「Operating System not found」と表示される

Windows 98起動ディスクで本体を起動して、FDISKコマンドを実行しCドライブの状態を調べてください。

Cドライブがアクティブでない状態になっている

FDISKオプションの「4.領域情報を表示」で「領域C:」の「状態」のところに「A」が付いているか確認してください。

付いていない場合は、アクティブでない状態になっているので、FDISKコマンドの「2.アクティブな領域を設定」を利用して、アクティブの状態にしてください。

ドライブ自体がフォーマットされていないとき

『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧の上、再セットアップしてください。



電源を入れるとピーッと音がする、または何かメッセージが表示される、または何も表示されない

フロッピーディスクなどがセットされている場合

フロッピーディスクがセットされている場合は、そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、本機では扱えないフロッピーディスクであることを示しています。本機で使用できるシステムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか再起動してください。またはフロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直して、再起動してください。



本機で使用できるフロッピーディスク→『活用ガイド ハードウェア編』
「PART1 本体の構成各部」の「フロッピーディスクドライブ」

フロッピーディスクなどがセットされていない場合

フロッピーディスクがセットされていないのに起動時にエラーメッセージが表示されたりする場合は、メッセージを書き留めるかまたは症状を書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。



エラーメッセージが表示された

エラーメッセージを書き留めて、ご購入元、NECにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』



パスワードを忘れてしまった

BIOSセットアップメニューでのパスワード(ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード)の場合

『ハードウェア拡張ガイド』PART5 付録、MA45L/Rをお使いの方は「PART3 付録」の「ストラップスイッチの設定」をご覧ください。

MA50J/F、MA43H/Fをお使いの方は、解除処置が必要です。Bit-INN、NEC サービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

Windows 98でのパスワードの場合

Windows 98のパスワードを忘れてしまった場合、【Esc】を押すと、Windows 98が起動して、本体は使用できますがネットワークには接続できなくなります。再設定したい場合には、再セットアップが必要になりますので、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧の上、再セットアップしてください。



Windows 98のパスワードは、ネットワークの設定などをしたら、設定されるようになります。ネットワークへのログインパスワードについては、ネットワーク管理者にご相談ください。



Windowsの起動に時間がかかる

TCP/IPプロトコル使用時においてWindows 98の起動やスタンバイ状態からの復帰の時間が長いことがあります。

この場合は、次の方法のいずれかを行ってください。

- ・ ネットワーク上に正常にDHCPサーバを接続する
- ・ TCP/IPプロトコルにIPアドレスを設定する
- ・ ネットワークの設定からTCP/IPを削除する
- ・ 次の手順で一時的にネットワークを無効にする(ネットワークに未接続の場合)

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック

「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「NEC 82559-based Fast Ethernet Adapter」をダブルクリック
「デバイスの使用」の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリック
「閉じる」ボタンをクリックし、Windowsを再起動する



電源を切ろうとしたが...

本機の電源は必ず正しい手順で切ってください。正しい手順を守らないと、データやプログラム、本機がこわれてしまう場合があるので、特に注意してください。

参照 電源の切り方→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「電源」

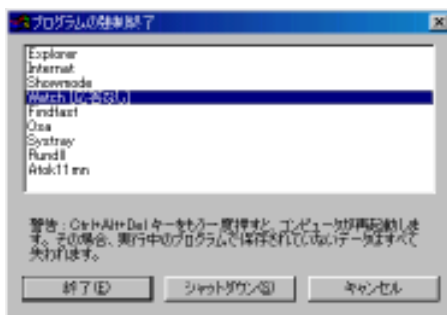


電源を切れない/強制的に電源を切りたい

正しい手順で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の「プログラムの強制終了」で電源を切ります。

プログラムの強制終了

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押すと、「プログラムの強制終了」の画面が表示されます。



プログラム名の右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」ボタンをクリックします(このアプリケーションで編集した文書、画像などは保存できません)。もう一度、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」を選択してください。

この方法でも電源を切れないときは、次の「強制的に電源を切る方法」にしたがってください。

強制的に電源を切る方法

本機の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

なお、次のような設定を行っている場合には、電源スイッチを4秒以上押し続けても電源が切れず、一度スタンバイ状態になる場合もあります。
(電源ランプがオレンジ色に点灯します)

- ・ APMモードで「システムスイッチ」の設定を「スリープボタン」に設定
- ・ ACPIモードで「電源管理」の「詳細」タブの「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「スタンバイ」に設定

その場合には、もう一度電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、電源が切れると電源ランプが点灯しなくなります。

強制的に電源を切った場合は、再度電源を入れ直して下さい。スキャンディスクが始まりシステムに異常がないか検証が始まります。

システムに異常がない場合は、Windowsが起動しますのでもう一度正しい手順で電源を切ってください。

参照

システムスイッチの設定→『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定「省電力の設定」MA46H/Sをお使いの方は、『本機をお使いの方へ』1. システム設定「Power Management Setupの設定」



スタンバイ機能を使おうとしたら...

本機には、作業を中断するときなどに、作業内容を記憶して本機の一部の電源を切るスタンバイ機能があります。スタンバイ状態から復帰するときには、本機の電源スイッチを押します。

参照

スタンバイ機能→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「電源」



電源スイッチを押してもスタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない(スタンバイ状態から復帰できない)

アプリケーションや周辺機器はスタンバイ機能に対応していますか？
対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ機能は使わないでください。

電源ケーブルは正しく接続されていますか？
電源ケーブルをコンセントに接続します。

スタンバイ状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態中に停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、スタンバイ状態になる前の内容は消えてしまいます。

電源ランプは点灯していますか？

スタンバイ状態中に電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、スタンバイ状態になる前の内容は消えてしまいます。



パソコンがこわれそう...



本機から煙が出たり、異臭がしたりする

本機が、手で触れられないほど熱い

本機から異常な音がする

その他、本機および本機に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じた

このようなトラブルが発生した場合は、次の手順で対応してください。

すぐに電源を切る

電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

ご購入元、NECに相談する



参照 NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』



チェック!!

本機を安全に使用するための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。本機をお使いになるときは、必ず注意事項を守ってください。



キーボードに飲み物をこぼしてしまった

『活用ガイド ハードウェア編』PART4 付録 1 MA45L/Rをお使いの方はPART3 付録 1の「本機のお手入れ」にしたがって、柔らかい布などでふき取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECにご相談ください。



参照 NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』



ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。



安全ピン、クリップなど異物を本体内部に入れてしまった

すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜き、ご購入元にご相談ください。



チェック! 発煙、発火や故障の原因となります。



パソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップ中ではないのにパソコンが反応していないとき(ハードディスクアクセスランプが点滅しないなど)は、電源を切って、5秒以上待ってから、もう一度電源を入れます。

スキャンディスクが行われた場合はシステムに異常がないかの検証が始まります。

スキャンディスクで異常が発見されなかった場合は、そのままお使いください。

何か異常が発見された場合は、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、そのままお使いください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。

『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください、再セットアップをしてください。



画面がおかしい...

参照 『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」



画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき
『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」にしたがって、表示位置やサイズを見やすく調整してください。

別売のディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。詳しくはディスプレイのマニュアルを見てください。



画面が流れるように表示される

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイル (Monitor.Inf) がないためにディスプレイの同期が取れず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイル (Monitor.Inf) を入手し、セットアップしてください。



ディスプレイの省電力機能が設定できない

ディスプレイの省電力機能は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「電源の管理」をダブルクリックして設定します。

本機と別売のディスプレイを使っているときは、ディスプレイが省電力機能 (パワーマネジメント機能) に対応しているか確認してください

省電力機能 (パワーマネジメント機能) に対応していないディスプレイを接続しているときは、ディスプレイの省電力機能の設定はできません。セットモデルのディスプレイは、省電力機能に対応しています。別売のディスプレイを使うときは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックします。「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面の「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が使えません。セットモデルのディスプレイの種類は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」にしたがって指定してください。別売のディスプレイについては、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される

「ディスプレイの詳細プロパティ」にディスプレイの種類は表示されていますか？

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックします。「ディスプレイの詳細プロパティ」の画面の「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示される場合は、ディスプレイの種類を指定してください。セットモデルのディスプレイの種類は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ディスプレイ」にしたがって指定してください。別売のディスプレイについては、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。



表示できるはずの高解像度を選択できない

別売のディスプレイでは、プラグ&プレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度(1280×1024ピクセル)など、サポートしている表示モードの一部を選択できないことがあります。

次の操作で解像度が選択できるようになります。

ディスプレイを接続し、Windows 98を起動する

起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示される場合があります。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック

「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリック

「オプション」の「プラグアンドプレイモニタを自動的に検出する」のチェックを外す

「OK」ボタンをクリックし、順に「OK」ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じる

「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリック
「Windowsの終了」の画面が表示されます。

「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリック
Windowsが再起動します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブをクリック

「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリック

 **チェック!** 「モニタ不明」の場合は手順へ進んでください。

「次へ」ボタンをクリック

「検索方法を選択してください。」というメッセージが表示されたら、
「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

「すべてのハードウェアを表示」を選択する

「デバイスドライバの更新ウィザード」一覧より、「製造元」と「モデル」を選択する

 **モ**

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で（標準モニタの種類）、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

「次へ」ボタンをクリックし、再び「次へ」ボタンをクリック

「完了」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリック

「OK」ボタンをクリック

これでディスプレイの設定が完了しました。
再起動後に、高解像度を選択できるようになります。



シャットダウンできない

タスクバーにある画面の解像度や色数を変更できる「設定インジケータ」をクリックして設定を変更する際に、「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選択して設定を変更すると、正常にシャットダウンできない場合があります。「設定インジケータ」から画面の解像度や色数を変更する場合、変更した後の再起動は「スタート」ボタンの「Windowsの終了」から行ってください。



アプリケーションの画面の色がおかしい

Windows 98の画面の色数を256色で使用すると、アプリケーションの画面の色が正しく表示されない場合があります。

この場合には、デスクトップの任意の場所を右クリックし、表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックして、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外してください。「Webページで表示」を設定していない場合は、画面の色数を「High Color」以上にしてお使いください。



音がおかしい...

異常な音がするときや、スピーカの音を調整したいときは、ここを見てください。

参照

音量の調整→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「サウンド機能」



ハードディスクから異常な音がする

本機の内部から、ガリガリと物をひっかくような音がしたり、ガガガと引っ掛かるような音がしたとき

参照

「パソコンがこわれそう... (P.178)をご覧ください。

ハードディスクを使っているとき

ディスクランプの点滅とあわせて、本体より小さな音がする場合がありますが、これはハードディスクドライブの動作によるもので異常ではありません。ご心配の場合には購入元にご相談ください。



ダイヤラを利用時に音がでない

ダイヤラがボイス機能対応FAXモデムに対応していないのが原因です。
ボイス機能対応のアプリケーションをご利用ください。



マウスを動かしても...

参照 『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「マウス」



マウスを動かしても、何も反応しない

マウスとキーボードおよびキーボードと本体との接続を確認してください

『はじめにお読みください』をご覧になり、マウスとキーボードおよびキーボードと本体を接続し直してください。

しばらく待っても、マウスの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

参照 プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが...」(P.176)



マウスの動きが悪い

マウスの内部が汚れていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』PART4 付録A MA45L/Rをお使いの方はPART3 付録」の「本機のお手入れ」の「マウスのクリーニング」をご覧ください。マウスの内部を掃除してください。



「システム情報」→「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されている

USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「システム情報」をクリックし、「コンポーネント」の「問題のあるデバイス」に「PS/2互換マウスポート」と表示されますが異常ではありません。



文字を入力しようとしたら...

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「キーボード」



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

キーボードと本体との接続を確認してください

『はじめにお読みください』をご覧ください。キーボードと本体を接続し直してください。

キーボードのコネクタが本体から抜けていたり、きちんと奥まで差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)のだと思われます。Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。

アプリケーションの強制終了ができない場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。このとき、保存していなかったデータはなくなります。

次に、キーボードと本体の接続を確認してください。

参照

プログラムの強制終了の方法→「電源を切ろうとしたが...」(P.176)



記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

文字コード表は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「文字コード表」をクリックしてください。



「~ (チルダ)を入力したい

【Shift】を押したまま、を押します。



「_ (アンダースコア、アンダーバー)を入力したい

【Shift】を押したまま、を押します。



ファイルを保存しようとしたら...

ソフトウェアで、文書や画像などのファイルを保存しようとして、うまくいかないときは、ここを見てください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ハードディスクドライブ」 「フロッピーディスクドライブ」および「スーパーディスクドライブ」



ハードディスクに保存できない

ディスクの空き容量を確認してください

「ハードディスクの空き容量が足りない (P.192)にしたがって空き容量を増やしてください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。



CD-RWに保存できない

CD-RWドライブ搭載モデルをお使いの場合、CD-RWにデータを保存するためには、本機添付のEasy CD Creator Lite またはDirectCDが必要です。

参照

Easy CD Creator Lite、DirectCDの追加方法→「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Easy CD Creator Lite」 「DirectCD」



LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続しようとしたら...

LANの接続については、ネットワーク管理者に相談してください。
ネットワークを運用中は、リンクケーブルを取り外さないでください。



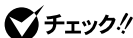
ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。



ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」で調べることができます。



チェック!

ネットワークコンピュータに表示されるまでには時間がかかることがあります。その場合は、しばらく待ってから「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。



共有ファイルやフォルダが使えない

ネットワーク上で、本機と、他のコンピュータとでファイルを交換するためには設定が必要になります。

本機が共有を行う設定になっていない

共有ドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータから本機を利用するには、「共有する」の設定が必要です。

まず「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、共有サービスが追加されているか確認します。追加されていない場合は追加してください。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」

共有ドライブまたはフォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されている

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、まったく利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。

 **チェック!** 共有を設定した当初は「読み取り専用」の設定になっています。



FAXモデムを使おうとしたら...



ダイヤルが正常に実行できない

「ダイヤラ」で、ダイヤルが正常に実行できない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「リダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからリダイヤルしてください。



印刷しようとしたら...

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、アプリケーションの設定などが考えられます。1つずつ確認してください。

参照

プリンタ接続と設定方法→プリンタに添付されているマニュアル『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定の「ハードウェア環境の設定」



プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

接続ケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？
プリンタのマニュアルにしたがって、本体とプリンタを接続し直してください。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？
プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルにしたがって設定を確認してください。

プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見てケーブルを確認してください。

プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。また、プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。プリンタに添付されているマニュアル、またWindowsのヘルプにしたがって設定してください。

本機のシステム設定を確認してください

パラレルポート(プリンタ)に関する設定があります。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART2 システム設定「ハードウェア環境の設定」

プリンタがLANに接続されていますか？

プリンタがプリンタサーバに接続されている場合には、プリンタサーバでエラーが表示されていないか確認してください。またプリンタがLANに直接接続されている場合は、ルータおよびマルチポートリピータの電源を確認してください。



フロッピーディスクなどを使っていたら...

フロッピーディスクまたはスーパーディスクを使っていて問題が起きたときは、ここを見てください。

参照 『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「フロッピーディスクドライブ」または「スーパーディスクドライブ」



「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、フロッピーディスクまたはスーパーディスクの内容が表示されない

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

フロッピーディスクを入れ直して再試行してください。同じメッセージが表示されたら、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。クリーニングしても問題が解決しない場合は、別のフロッピーディスクを入れてみて、正常に内容が表示されるようであれば、元のフロッピーディスクがこわれていると考えられますので、復旧は困難です。

他のフロッピーディスクをセットしても内容が表示されないときは、フロッピーディスクドライブの故障が考えられます。ご購入元、NECにご相談ください。

参照 NECのお問い合わせ先→『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしんサポートガイド』

クリーニング→『活用ガイド ハードウェア編』PART4 付録 1 MA45L/Rをお使いの方は、「PART3 付録」の「本機のお手入れ」

「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットしたフロッピーディスクは、本機では読めないフォーマットのフロッピーディスクか、フォーマットされていません。

フロッピーディスクに必要なファイルが入っていないければ、「はい」ボタンをクリックし、フォーマットしてから使ってください。

参照 フロッピーディスクのフォーマット→Windowsのヘルプ



本機に添付のフロッピーディスクを修復したい

参照 「添付品の修復、再入手方法について」(P.213)



ディスクコピーできない

MS-DOS Ver6.2以前のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディスクを「MS-DOSプロンプト」からDISKCOPYコマンドでディスクコピーすることはできません。フロッピーディスクのディスクコピーを行う場合は、「マイコンピュータ」の「3.5インチFD」を右クリックし、表示されたメニューから「ディスクのコピー」をクリックしてください。



ドライブスペース3を使用してフロッピーディスクを圧縮したとき、圧縮されたフロッピーディスクがプログラム上から認識できない

以下の手順により、圧縮されたフロッピーディスクを認識することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「ドライブスペース」をクリック

「ドライブスペース3」の画面で「このコンピュータのドライブ」に「圧縮フロッピーディスク」を選択する

「詳細」メニューの「マウント」をクリック

ドライブスペース3を終了する



ハードディスクを使っていたら...



ハードディスクの動作速度が遅い

ハードディスクを長い間使っていると、データがディスクの空いている場所にばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。このようなばらばらになったデータを最適な場所に整理するには「デフラグ」を行ってください。

参照

デフラグの方法→「スタート」ボタン→「ヘルプ」の「キーワード」タブで「デフラグ」



ハードディスクに障害がおきた

軽い障害であれば、スキャンディスクプログラムを使って修復することができます。

参照

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「ハードディスクドライブ」



ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

ディスククリーンアップを使う

ディスククリーンアップを実行すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

参照

ディスククリーン→「スタート」ボタン「ヘルプ」の「キーワード」タブで「ディスククリーンアップ」

「ドライブスペース3」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き容量を増やすことができます。

ドライブスペース3が動作中に、一般保護違反のエラーが発生する場合は、以下の手順で「スタートアップ」フォルダのすべてのファイルを別のフォルダに移動させた後、ドライブスペース3を実行してください。

「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと「スタート」メニュー」をクリック

「タスクバーのプロパティ」の画面が表示されたら、「[スタート]メニューの設定」タブの「詳細」ボタンをクリック

「エクスプローラ」が起動するで、「すべてのフォルダ」欄の「プログラム」をクリック

「ファイル」メニュー→「新規作成」→「フォルダ」をクリック

ここでは、新たに作成したフォルダの名称を「tmp」として説明します。

「すべてのフォルダ」欄の右側に表示されている「スタートアップ」フォルダをクリック

「エクスプローラ」の「編集」メニュー→「すべて選択」をクリック

反転表示した部分を右ボタンでドラッグし、そのまま「すべてのフォルダ」欄の手順で作成した「tmp」フォルダにドロップして、「ここに移動」をクリックし、「スタートアップ」フォルダのすべてのファイルを「tmp」フォルダに移動させる

「エクスプローラ」を終了させ、「タスクバーのプロパティ」の画面の「OK」ボタンをクリック

Windows 98を再起動する

再起動後、ドライブスペース3を実行する

ドライブの圧縮後、「tmp」フォルダのすべてのファイルを「スタートアップ」フォルダに戻し、「tmp」フォルダを削除後、Windows 98を再起動する



参照 ドライブスペース3→「スタート」ボタン→「ヘルプ」の「キーワード」タブで「ドライブスペース3」



領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト = 1,000,000バイト、1Gバイト = 1,000,000,000で計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト = 1,048,576バイト、1Gバイト = 1,073,741,824バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。



CD-ROMを使っていたら...

参照

CD-ROMのセットのしかた、CD-ROMドライブの使用上の注意→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」



CD-ROMドライブのディスクトレイを出し入れできない

本機の電源は、入っていますか？

電源が入っているのに、CDトレイが出てこない場合は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」の「非常時のディスクの取り出し」にしたがって強制的に出してください。



CD-ROMをセットしても自動起動しない

そのCD-ROMは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMの説明書で確認してください。

対応していないときは、Windows 98のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをクリックし、表示されるウィンドウの中のアイコンをダブルクリックして起動してください。

CD-ROMのプロパティで自動起動が設定されていますか？

「デバイスマネージャ」からCD-ROMドライブのプロパティを開き、CD-ROMドライブのプロパティの画面の「設定」タブにある「挿入の自動通知」にチェックを付けてください。



CD-ROMのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？

CD-ROM、音楽CDの表裏を確認し、本体のCDトレイの中心にセットしてください。

本機で使えるCD-ROMかどうか確認します

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「CD-ROMドライブ」をご覧ください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。



再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。



動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、いったん動画の再生を停止してからにしてください。



動画の再生中に画面が消えてしまう

Video CDなど、MPEG形式の動画を再生中にディスプレイの省電力機能が働いたり、スタンバイ状態になった場合、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときはディスプレイの省電力機能や、スタンバイ状態にならないように設定してください。



スタンバイ状態→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「電源」



CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブのドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、別売のCD-ROMドライブを増設したときやCD-ROMドライブの設定を変更したときなどには、特に指定しなければ最後のハードディスクドライブの次の番号が割り当てられます(最後のハードディスクドライブがDドライブの場合はEドライブ)。CD-ROMドライブのドライブ番号を変更する場合は、Windowsのヘルプをご覧ください。



「スタート」ボタン→「ヘルプ」の「キーワード」タブで「ドライブ文字」



MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい

工場出荷時の状態のままでは、MS-DOSモードでCD-ROMドライブは使用できませんので、「PART2 他のOSを利用する」の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」(P.88)をご覧くださいの上設定してください。



添付されていたCD-ROMが使えなくなった、こわれた

本機に添付されているCD-ROMに傷が付いて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。



CD-ROMの交換のお問い合わせ先→『メンテナンス＆サポートのご案内』
『NEC PC あんしんサポートガイド』



周辺機器を取り付けようとしたら...

周辺機器を取り付けるときは、周辺機器のマニュアルを見て接続してください。

参照

周辺機器のマニュアル、『ハードウェア拡張ガイド』(MA50J/F、MA43H/Fをお使いの場合は『活用ガイド ハードウェア編』)



本機で使っている割り込みレベルを知りたい

- ・工場出荷時の状態は『活用ガイド ハードウェア編』PART4 付録、MA45L/Rをお使いの方は、『PART3 付録』の「割り込みレベル・DMAチャンネル」をご覧ください。
- ・現在の割り込みレベルについては『デバイスマネージャ』の「コンピュータのプロパティ」で参照してください。



デバイスマネージャの画面の中に赤い×や黄色い!がついている「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブ画面の中に赤い×や黄色い!が付いている場合は、その周辺機器が何らかの原因で正常に動作していないことを表示しています。Windowsのヘルプや周辺機器のマニュアル、または『ハードウェア拡張ガイド』(MA50J/F、MA43H/Fをお使いの場合は『活用ガイド ハードウェア編』)をご覧くださいの上、正常に動作するように問題を解決してください。

また、USB接続のキーボードがセットになったモデルの場合は、マウスの下に「PS/2互換マウスポート」のところに黄色い!が付いていますが、異常ではありません。



PC-9800シリーズで使用していたプリンタやシリアル機器が使用できない

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部の「各部の名称」『パラレルコネクタ』または『シリアルコネクタ1、2』をご覧ください。



PCIボードを取り付けたが動作しない、PCIボードを取り付けたらパソコンが起動しなくなった、他の機能が使えなくなった

『ハードウェア拡張ガイド』PART1 周辺機器を接続する前に」をご覧ください。



シリアルポート(B)を使いたい

工場出荷時ではシリアルポートBは使用しない設定になっております。使用する場合は以下のように設定してください。

なお、MA46H/S、MA73T/C、MA60T/C、MA53T/C、MA50T/A、MA50T/C、MA60J/C、MA55J/C、MA50J/C、MA46H/Z、MA46H/L、MA45L/Rをお使いの場合は、シリアルポート(B)はサポートしていませんので、使用できません。

本体の電源を入れる

「NEC」のロゴの画面で「<F2>:BIOSセットアップメニューを起動します、<F12>:ネットワークブートします。」と表示されたら、【F2】を押して「BIOSセットアップメニュー」を起動させる

「BIOSセットアップメニュー」の「詳細」→「周辺機器設定」→「シリアルポートB」の設定を「使用する」にする

【F10】を押して、「はい」を選択して「BIOSセットアップメニュー」を終了させ、再起動する

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリック

「通信ポート(COM2)」が他のデバイスと競合していないことを確認する



SCSIボードを2枚増設して使用したい

Windows 98では、SCSIボードを複数枚使用することはできません。

Windows NT4.0を使用してください。



ハードウェアウィザードを実行すると、「Sound Blaster Pro Compatible」および「ゲームポートジョイスティック」がデバイスマネージャに追加される

ハードウェアウィザードを実行すると、「Sound Blaster Pro Compatible」が組み込まれる場合があります。この場合は、次の手順で削除してください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリック
- 4 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の「Sound Blaster Pro Compatible」および「ゲームポートジョイスティック」を削除する



アプリケーションを使っていたら...

アプリケーションを使う前、または使っていてトラブルが起きたときはここを見てください。



起動しなくなった、動作が遅い、動かなくなることがある

ハードディスクに十分な空き領域はありますか？

ハードディスクの中にデータがたくさん蓄積されたため、ハードディスクの空き領域が減り、Windows 98の動作が遅くなった可能性があります。空き領域が100MBより少なくなっている場合は、必要のないデータを削除したり、アプリケーションを別のハードディスクにインストールしてCドライブから削除したりしてください。

参照

「ハードディスクを使っていたら...」「ハードディスクの空き容量が足りない」(P.192)

複数のアプリケーションが起動していませんか？

複数のアプリケーションを同時に起動したり、メモリをたくさん使うアプリケーションを使うと、メモリが不足し、新たにアプリケーションが起動できなかったり、動作が遅くなったり、動かなくなったりしてしまいます。

他のアプリケーションが起動している時は、それらを終了してからご使用ください。それでも起動できない、動作が遅いときは本機を再起動してください。

参照

メモリを増設するには→『ハードウェア拡張ガイド』MA50J/F、MA43H/Fをお使いの方は『活用ガイド ハードウェア編』



スタンバイ状態から復帰しない

そのアプリケーションはスタンバイ機能に対応していますか？
対応していないアプリケーションでスタンバイ機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ機能は使わないでください。
この機能を使って電源を切ることができなくなったときは、4秒以上電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ってください。



参照 スタンバイ機能→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「電源」



削除を中断したら使用できなくなった

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選択して「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。



アプリケーションをインストールできない、動作しない

アプリケーションがこのパソコンに対応しているか確認します。
アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

デスクトップがWebページで表示されていませんか？

デスクトップをWebページで表示していると、アプリケーションがインストールできない場合があります。その場合は以下の手順を行ってください。

インストールできるときがあります。

デスクトップの任意の場所で右クリック

表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」をクリックし、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外す

Windows 98対応と明記されていないMS-DOS用、Windows 3.1用またはWindows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS、Windows 3.1用またはWindows 95用のアプリケーションの中には、Windows 98にはインストールできないものがあります。Windows 98対応と明記されていないアプリケーションについてはアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。



Windows 3.1対応ソフトウェアが起動しない。使っていたら本体が反応しなくなった

以下の内容はWindows 3.1対応アプリケーションが正常に動作しないときの対処方法です。

お使いになっているWindows 3.1対応ソフトウェアの動作環境を確認してください

Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows 98では動作しないものがあります。詳しくはアプリケーションの製造元にお問い合わせください。

MS-IME98、ATOK13を使っていますか？

MS-IME98、ATOK13を標準でご使用の状態でWindows 3.1用に開発されたアプリケーションを実行すると、まれに(主としてセットアップ時に)プログラムが停止する場合があります。次の方法でWindows 3.1対応アプリケーションのWindows 98への対応を行ってください。なお、通常はWindows 98への対応を行う必要はありません。そのままWindows 3.1対応アプリケーションをお使いください。

また、Windows 3.1対応アプリケーションのWindows 98対応は1つのアプリケーションに対して一度だけ行えば以後毎回有効です。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのために再度次の方法を行う必要があります。

WIN.INIを変更する前にWIN.INIのコピーをとっておきます。

次の方法ではWIN.INIを変更しますので、「手順」を実行される前にWindows 98のフォルダ(既定値では、C:\WINDOWS)にあるWIN.INIのコピーをとっておくことをおすすめします。

以下の手順でクイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順へお進みください。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面の「Windows ファイル」タブをクリック

「ファイルの種類」の中から「アクセサリ」をクリックし、「詳細」ボタンをクリック

「ファイルの種類」の中から「クイックビューア」の左に付いているチェックボックスをチェックし、「OK」ボタンをクリック

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面で「OK」ボタンをクリック

クイックビューアのセットアップが行われます。

Windows 98のデスクトップの画面を表示して「マイコンピュータ」をダブルクリック

症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのあるドライブまたはフォルダをダブルクリックし、実行プログラムのアイコンを右クリック

セットアップ中に症状が起きた場合は、セットアッププログラムのアイコンを右クリックしてください。

メニューから「クイックビューア」をクリック

選択したWindows 3.1対応アプリケーションの情報(テクニカルファイル情報)を表示する画面が開きます。

「モジュール名:」の右側に表示されている文字をメモする
ここでは仮に「ABC」とします。

「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行(R)...」をクリック

「名前(O)」欄に「WIN.INI」と入力する

「OK」ボタンをクリック

「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。

「検索」メニューから「検索」をクリック

「検索」ダイアログが開きます。

「検索する文字列:」欄に「[Compatibility]」と入力する

「次を検索」ボタンをクリック

本文内の「Compatibility」が選択されます。

「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリック

【End】を押す

「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。

【Enter】を押す

新しい行が作成されます。

手順 でメモした文字(ここではABC)を入力する

- ②1 手順 で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力する(xはアルファベット小文字のエックスです)

手順 で作成された行に以下の内容が表示されます。

ABC=0x00400000

- ②2 「メモ帳」の「ファイル」メニューから「上書き保存」をクリック

- ②3 「メモ帳」の「ファイル」メニューから「メモ帳の終了」をクリック

Windows 3.1対応アプリケーションがご使用になれます。



本機で動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

ホームページに記載されていないアプリケーションについては各アプリケーションの製造元にご確認ください。



Internet Explorer3.02、4.01を使いたい

Internet Explorer3.02、4.01は利用できません。



Windows 98から削除された主な機能を知りたい

Windows 98 Second Editionで削除された主な機能は、次の通りです。

- FrontPage Express
- MS VRML 2.0 Viewer
- RealAudio Player 4.0



Windows 95から削除された主な機能を知りたい

削除された主な機能は、次の通りです。

- Microsoft Fax
- Microsoft Exchange
- Internet Mail and News



本機にインストールされているDirect Xのバージョンを知りたい

Direct Xのバージョンは次の手順で確認することができます。

「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック

「名前」に "C:\Program Files\DIRECTX\SETUP\Dxtool.exe" と入力する



タイマ機能を使おうとしたら...

参照

「PART1 アプリケーションの概要と削除 / 追加」の「Timer-NX」(P.61)



Timer-NXで電源が入らない、Timer-NXを設定しても自動的に電源が入らない

電源ケーブルの接続を確認します

電源ケーブルをACコンセントに接続します。

パスワードが設定されているか確認します

ネットワークの設定やBIOSセットアップメニューなどで、パスワードを設定すると、起動時にパスワードを入力しないと、Windows 98が起動しなくなります。この場合はBIOSセットアップメニューの「起動時のパスワード」を「使用しない」にしてください。MA46H / Sをお使いの方は、「Security Setup」の「Password Check」を「Setup」にしてください。

ACPIモードになっていませんか？

ACPIモードになっていると、Timer-NXで電源を入れることができません。APMモードに切り替えてください。

参照

モードの確認、モード切り替え→『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部」の「電源」



Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない

終了時に操作の必要なアプリケーションが起動していませんか？データの保存など、終了時に何か操作をしないと終了できないアプリケーションが起動していると、Timer-NXで自動的に電源を切ることはできません。

Timer-NXの設定を確認します

Timer-NXで「オン」を設定した時間にすでにパソコンの電源が入っているときは、その後「オフ」を設定した時間がきても電源は切れません。



その他

これ以前のところで質問が見つからなかったときは、ここを見てください。



西暦2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ「98Information」の「西暦2000年対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.nec.co.jp/98/>

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

西暦2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。

西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算等の結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。

これがコンピュータの西暦2000年問題です。

本機に添付されているアプリケーションは西暦2000年問題に対応しています。



マニュアルをなくしてしまった

本機に添付されているNEC製のマニュアル『はじめにお読みください』、『安全にお使いいただくために』、『活用ガイド ハードウェア編』、『ハードウェア拡張ガイド』、『活用ガイド ソフトウェア編』、『活用ガイド 再セットアップ編』は、購入することができます。なお、在庫状況によっては、ご期待に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お買い求めの際は、NEC PCマニュアルセンターへお問い合わせください。

- ・ 販売方法：電話・FAXによる通信販売
いただいたFAXに対するご回答は、翌営業日以降となります。
- ・ お申し込み先：NEC PCマニュアルセンター

（電話）03-5476-1900

（FAX）03-5476-1967

営業時間：月～金曜日

AM10:00～12:00 PM1:00～4:00

（土日祝日年末年始を除く/FAXは24時間受付）

取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しております。

ホームページアドレス：<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

なお、再セットアップに必要なプロダクトキーが印刷されているマニュアル（『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』など）は再入手できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

マニュアルの書名やパソコンの型名、プロダクト キーなどは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。



次のホームページ([PICROBO](http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm))では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っています。

<http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm>



本機を海外で使いたい

海外では使えません。



テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、本機から遠ざけてください。また、本機は、それらの機器とは別のACコンセントにつないでください。



日付や時刻がずれる

本機内蔵のカレンダー時計は、電池(交換不要)により電源を供給されており、電源を切っても動いています。日付と時刻を設定してもなお日付や時刻がずれる場合は、ご購入元にご連絡ください。



本機を廃棄したい

本機の所有者が事業者の場合には、本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。

なお、本機の所有者が個人の場合には、マニフェストの発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。



コンピュータウイルス対策について

ここでは、コンピュータウイルスの予防法と発見時の対処方法について説明しています。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

インターネットや電子メール上のやりとり、フロッピーディスクやCD-ROMの受け渡しなど、さまざまなかたちでコンピュータウイルスに感染する可能性があります。パソコンをコンピュータウイルスから守るには、次の点に注意してください。

- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやCD-ROM、プログラムは使用しない
- ・ 入手したデータやプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ インターネットやパソコン通信から、むやみにデータやプログラムをダウンロードしない
- ・ 覚えがない電子メールや添付ファイルは開かずに削除する
- ・ ウイルス検査は定期的に行う
- ・ ワクチンソフトは最新版になるように定期的に更新する

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション「VirusScan」が添付されています。

参照 「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「VirusScan」(P.39)

コンピュータウイルスを発見したら

ウイルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが確実な方法です。削除できないファイルの場合は、「VirusScan」などのウイルス除去機能があるアプリケーションでそのファイルのウイルスを削除してください。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、スーパーディスク、ハードディスク、MOディスクなど)をすべてウイルス検査する必要があります。

コンピュータウイルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウイルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務付けられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の被害対策のための貴重な情報となりますので積極的に報告してください。

届け出先：情報処理振興事業協会(通称IPA)セキュリティセンターウイルス対策室

本部：〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8
文京グリーンコート センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509 FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



トラブルを予防するには...

- 電源は、正しい順序で入れる/切る

『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』の「電源」をご覧ください。

- 大切なデータはバックアップをとっておく

パソコンを使っていると、うっかりファイルを消してしまったり、ドライブが故障してしまったりと、大切なデータをなくしてしまうことがあります。そんなときにもフロッピーディスクやMOディスクにデータをコピーして予備のデータをとっておくと安心です。

また、本機に添付されている「バックアップCD-ROM」を使用して再セットアップする場合には、ご自分でハードディスク内に作成されたデータやインストールされたアプリケーションソフトは、すべて消去されます。必ず再セットアップする前に、これらのデータをバックアップしてください。

バックアップをとる方法は、「Masty Data Backup (P.51) またはWindowsのヘルプをご覧ください。

- メンテナンスウィザードを使って定期的にメンテナンスを行う
メンテナンスウィザードを使って、ハードディスクの軽い障害を修復するスキャンディスク、プログラムをより速く実行するデフラグ、ハードディスクの空き容量をより多くするディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に行うことができます。

設定されたシステムツールは、「マイコンピュータ」の「タスク」フォルダに登録されます。ここで、登録された日時や曜日は後で変更することができます。

メンテナンスウィザードは、次の方法で起動することができます。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の「メンテナンスウィザード」をクリック

- 改造をしない

本機用のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。マニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となることがあります。

- あらかじめ起動ディスクを作っておく

Windows 98の調子がおかしくなったり、ちょっと設定を変更したらWindows 98そのものが起動しなくなってしまうことがあります。

このようなときには、起動ディスク(Windows 98を起動するフロッピーディスク)を使って本機を起動して、本機を検査したり、設定を変更したりすると解決に役立つことがあります。

起動ディスクは、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」ボタンで作成できます。



アフターケアについて



保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECのサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『メンテナンス&サポートのご案内』『NEC PC あんしんサポートガイド』または本書をご覧ください。



消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次の通りです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部分です。NECサービスステーションなどで交換し、お客さまに部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	CRTディスプレイ (ブラウン管) 液晶ディスプレイ いずれもディスプレイがセットになっているモデルのみ。

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。



添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です（有料）。

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手についてのお問い合わせ先は、添付の『メンテナンス&サポートのご案内』NEC PC あんしん サポートガイド』をご覧ください。

- ・ フロッピーディスク
- ・ CD-ROM



本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、「正規登録ユーザ（98OFFICIAL PASSメンバー）」へのご登録を行ってください。パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること（本体に添付されている『ソフトウェア使用条件適用一覧』をご覧ください）

第三者に譲渡（売却）される製品をご登録されている場合は、98OFFICIAL PASS登録センター（TEL：042-333-5516）までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規登録ユーザ(98OFFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な以下の事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。ただし、『98OFFICIAL PASSお客様登録申込書』が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

記載内容

本体型名および保証書番号
(本機背面に記載の型名および製造番号)
または
(本機底部に記載の型名および製造番号)
以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル)
NEC
98OFFICIAL PASS登録センター係行



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** シリーズ

Mate NX
Mate NX[®]

(Windows 98 インストールモデル)

三版 2000年 2月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。